



# 教員免許状更新講習報告書 2019 年度

国立大学法人秋田大学

教員免許状更新講習推進センター

## 教員免許状更新講習推進センターの理念・目的・目標

### 教員免許状更新講習推進センターの理念

教員免許状更新講習を通じ、学校教員がその時々で求められる教員として必要な資質能力が確実に保持されるよう、必要な刷新を行うことにより、秋田県を中心として、公教育の改善・充実と、公教育に対する保護者や国民の信頼の確立に寄与する。

### 教員免許状更新講習推進センターの目的

1. 教員免許状更新講習を企画・立案する。
2. 教員免許状更新講習を実施する。
3. 教員免許状更新講習を点検・評価し、改善する。
4. 教員免許状更新講習に関わって関係諸機関と連携する。

### 教員免許状更新講習推進センターの目標

- A. 更新講習に対するニーズをふまえ、必要な量と質の講習を確保する。
- B. 受講者の利便性を考えた受講システムを構築し、改善を継続的に行う。
- C. 更新講習が円滑かつ安全に実施されるよう、施設設備、環境等を整備する。
- D. 更新講習に対する評価を踏まえて、FD等の活動を実施し、改善に努める。
- E. 秋田県教育委員会と適切に連携しながら更新講習の企画・実施にあたる。
- F. 県内の高等教育機関、研究機関等と適切に連携しながら更新講習の企画・実施にあたる。

# 目 次

・はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・平成31年度教員免許状更新講習推進センター業務記録・・・・・・・・	2
・平成31年度教員免許状更新講習関係委員会等名簿・・・・・・・・	3
・平成31年度教員免許状更新講習実施状況・・・・・・・・	5
・平成31年度教員免許状更新講習受講者評価結果まとめ・・・・・・・・	6
・平成31年度教員免許状更新講習受講者事後アンケート・・・・・・・・	7
・平成31年度教員免許状更新講習担当講師事後アンケート・・・・・・・・	9
・平成31年度教員免許状更新講習一覧・・・・・・・・	11
・平成31年度教員免許状更新講習修了者・履修者調・・・・・・・・	36

はじめに

教員免許状更新講習は、ご存じのように 2007 年の教育職員免許法の改正に伴い、教員免許状に更新制が取り入れられたことによりスタートしました。2008 年度の夏に予備講習を行い、2009 年度から本格実施となり、今年度で 11 年目を迎え、受講が 2 回目となる方々が出てきました。

また、2016 年度からは、教員免許状更新講習の総時間数は変わりませんが、新たに「選択必修領域」が設けられ、講習の全体構造が変わりました。これまでの必修領域の 12 時間が、必修領域 6 時間と選択必修領域 6 時間の二つになり、選択必修では受講者がそれぞれの関心や希望に応じて講習を選択できる範囲が広がりました。そのようなことから、本センターでは、昨年度に引き続き選択必修として 27 講座を開設し、新たなニーズへ対応できるように努めました。



そのうえ、全国的にも特徴的であったと言える、比較的大人数を対象にした選択必修領域の講座を必修領域の講習日の前後に 7 つ開設することも、引き続き行い、受講生の利便性に考慮しました。

改めて今年度の開設（認定）数を記すと、必修科目 7 講座、選択必修科目 27 講座、選択科目 132 講座（21 講座廃止）の講習を開設し、それぞれの受講者数は、必修 774 名、選択必修 791 名、選択 2,007 名という実施状況でした。全国的に見ても、本センターで開設している講座数は多く、また、以下の資料にもありますように、受講者からも高い評価を得ているところです。これらは、ひとえに講座を担当されている先生方、あるいは事務方の皆様のご協力とご援助の賜物と、心より感謝申し上げます。

また、秋田大学のみならず、秋田県教員免許状更新講習推進協議会の委員ならびにその所属機関である秋田県教育庁、秋田県立大学、国際教養大学、日本赤十字秋田看護大学、秋田公立美術大学、聖霊女子短期大学、聖園学園短期大学の関係者の皆様のご協力に、感謝申し上げます。

最後になりましたが、私どもセンター教職員を信頼して下さり、運営上の問題に的確にご助言・ご支援をいただいた理事・副学長の志立正知先生に深く感謝申し上げます。

2020 年 3 月

秋田大学教員免許状更新講習推進センター長

森 和彦

平成31年度教員免許状更新講習推進センター業務記録

月 日	内 容
4月 24日	第1回運営委員会, 第1回企画部門会議
5月 10日	【第1次募集】受講者申込受付 (～5月15日)
5月 22日	秋田県教員免許状更新講習推進協議会
5月 27日	【第2次募集】受講者申込受付 (～各講習開設日の4週間前まで)
6月 1日	平成31年度講習開始 (～12月29日)
11月 5日	実務連絡会
11月 18日	第2回運営委員会, 第2回企画部門会議
2月 5日	第3回運営委員会, 第3回企画部門会議
2月 10日	令和2年度開設講習について, 文部科学大臣へ申請
3月 18日	令和2年度開設講習について, 文部科学大臣から認定
3月	「平成31年度教員免許状更新講習」報告書作成

## 平成 31 年度 教員免許状更新講習関係委員会等名簿

### (1) 教員免許状更新講習推進センター運営委員会

氏 名	職 名	
森 和 彦	教員免許状更新講習推進センター	センター長
山 名 裕 子	同上	副センター長
川 村 洋 平	大学院国際資源学研究科	教授
佐 藤 学	教育文化学部	教授
石 井 照 久	同上	教授
八月朔日 泰和	大学院医学系研究科	教授
篠 原 ひとみ	同上	教授
河 上 肇	大学院理工学研究科	教授
小 林 真 人	同上	准教授
鈴 木 翔	同上	講師

### (2) 教員免許状更新講習推進センター企画部門

氏 名	職 名	
森 和 彦	教員免許状更新講習推進センター	センター長
山 名 裕 子	同上	副センター長
川 村 洋 平	大学院国際資源学研究科	教授
石 井 照 久	教育文化学部	教授
篠 原 秀 一	同上	教授
古 内 一 樹	大学院教育学研究科	特別教授
石 井 宏 一	教育文化学部	准教授
鈴 木 徹	大学院教育学研究科	准教授
篠 原 ひとみ	大学院医学系研究科	教授
鈴 木 翔	大学院理工学研究科	講師

(3) 秋田県教員免許状更新講習推進協議会

氏名	職名	
志立正知	秋田大学	理事(教育・学生・地方創生・広報企画担当)
吉澤結子	秋田県立大学	理事(兼)副学長
佐藤健公	国際教養大学	教職課程代表 教授
新田純子	日本赤十字秋田看護大学	看護学部長
毛内嘉威	秋田公立美術大学	理事(兼)副学長
横溝眞理	聖霊女子短期大学	教務部長 教授
永井博敏	聖園学園短期大学	教授
渡部克宏	秋田県教育庁	教育次長
森和彦	秋田大学	教員免許状更新講習推進センター長

(4) 教員免許状更新講習事務室

氏名	職名	
野口 研	教員免許状更新講習事務室	事務室長
藤澤 惇也	同上	主査
笹子 綾子 (～R元. 6.30)	同上	事務職員
北之口 俊輔 (R元. 7.1～)	同上	事務職員
大山 洋子	同上	事務系スタッフ

平成31年度教員免許状更新講習実施状況

1 開設状況(認定数)

	開設講習数	開講講習数	廃止講習数
必修	7	7	0
選択必修	27	27	0
選択	132	111	21
合計	166	145	21

2 申込状況

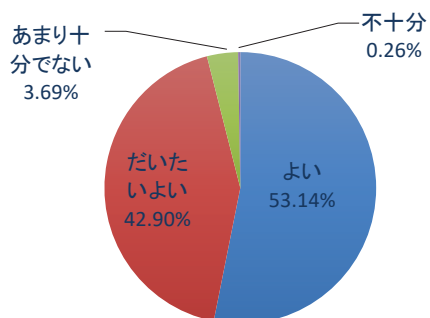
	定員数	受講者数 (延べ)	履修認定者数 (延べ)
必修	1,000	774	774
選択必修	1,290	791	791
選択	3,252	2,007	2,007
合計	5,542	3,572	3,572



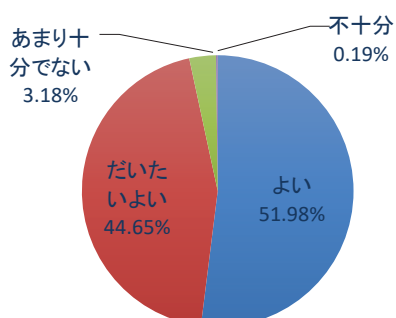
# 平成31年度 受講者評価結果まとめ

## 必修

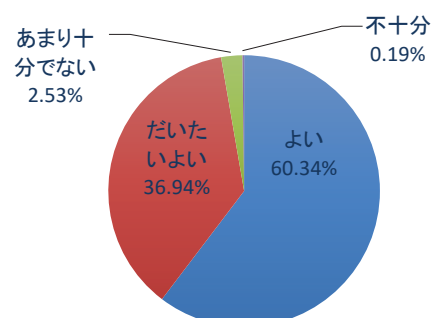
I 講習の内容・方法(必修)



II 知識技能習得成果(必修)

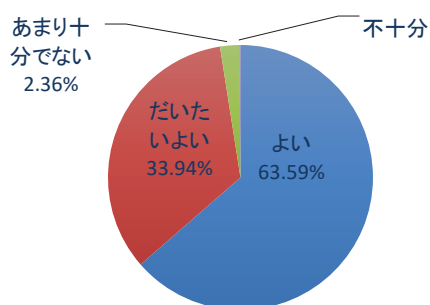


III 運営面(必修)

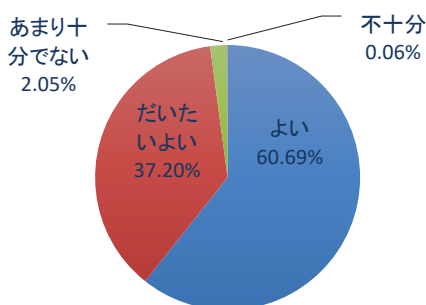


## 選択必修

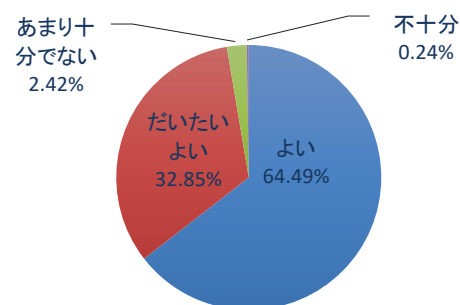
I 講習の内容・方法(選択必修)



II 知識技能習得成果(選択必修)

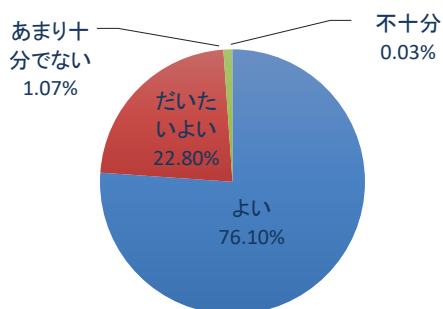


III 運営面(選択必修)

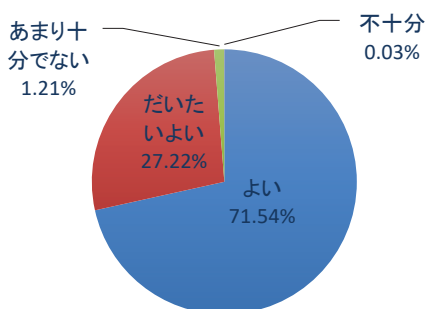


## 選択

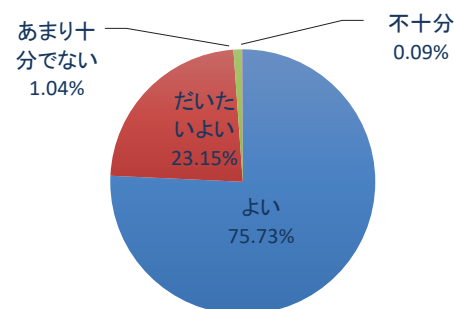
I 講習の内容・方法(選択)



II 知識技能習得成果(選択)



III 運営面(選択)



自由記述（講習内容、運営面等）

<p>1. 講習内容とは全く関係ありませんが、昼食のことで食堂が使えるのかわからず、インターネットで調べてみましたが、もしかして、今は夏休み中？長期休み中もやっているが心配だったので（売店も含めて）持って来ました。 もしもできるなら、シラバスの中に食堂も売店も利用可ということが一言載っていたら、ありがたかったなと思いました。</p>
<p>2. 3号館の建物に入ってからがわかりづらいので、入ったところからすぐ案内板がほしいと思った。</p>
<p>3. 会場案内図の受付場所の表現がわかりにくく、講習会場へ入ってから受付へもどった人もいたので、もっと分かりやすくしては、どうか。（シラバスに記載の会場前で受付（赤）がまぎらわしい）</p>
<p>4. ・長期休みのない保育士にとっては、3連続は辛いものがあります…。（体力的にも勤務的にも）かといって他の日は？となっても、行事があったり 他の人の休みもあるので、大変だなあと…。 ・資料は、文章ばかりになるのは仕方ないかもしれないが、話すことをもう少し簡潔にまとめたいただければいいなと…。</p>
<p>5. 最終日（12日、振替休日）駐車場が1Pではなく5Pであった。振替休日は土・日・祝日ではなく平日の扱いになると事前にお知らせいただくとありがたいのだが、と思った。</p>
<p>6. 感染症の流行があるのでトイレに石けんを置いてほしいです。【教 3-150】</p>
<p>7. 講師の先生から丁寧な説明はありましたが、やはり駐車場がないことは非常に不便でした。会場としては不向きだと思います。 実践的な講義でも、秋田大学が駐車場のある会場にすべきだと思います。</p>
<p>8. 免許更新の講習がキャリアアップになるとのことでしたが、それについての説明がどこにも載っていないので、説明や連絡があれば良いと思います。</p>
<p>9. 免許状更新講習の受講システムについて ネット環境など、整っておらず日程登録・確認したが、スマホや携帯のメールアドレス、郵送などでの受講申込登録方法などあればありがたい。</p>
<p>10. 今回 初めて聖園短大で実施した講義に参加しましたが、担任するスタッフの方、1人でもいると、もっとスムーズに講義が進むのかと思いました。秋大の時は常にいらっしゃったのですが、学校によってなのかな…と思いました。担当の先生1人では抱えきれない所もあるかと思しますので、プリントを配るなどのスタッフ、お願いします。</p>
<p>11. 秋大以外の他会場では、教室にて受付を行っている。今回、駐車場→教室と移動するときに、受付らしき場所はなく、1時間以上待つことになりました。 駐車場にも受付を置くか、どこに受付があるか大きく明示していただきたい。</p>
<p>12. 8/31、9/1の地域作りのワークショップが直前に廃止というメール（8/8）をもらった時は本当に当惑しました。しかも、8/14まで返事をくれというのですから。事務局の方が丁寧に対応してくださいましたので事無きを得ましたが、来年度からは講座講師の厳選をお願いします。</p>
<p>13. 案内の標示が隠れていて 見えなかったです。</p>
<p>14. 館内の空調は修理して欲しいです。【ウェルネス横手路】</p>
<p>15. 交通の便のいい場所だったので、ストレスなく会場に来ましたが、玄関に何も案内掲示板がなく入っていいのかわからず、手間取りました。何か表記しておいていただくとありがたいです。【シルバーエリア】</p>

16. 横手市在住なので、場所が分かりにくかった。シラバスに講習場所の電話番号があると、電話番号でナビの検索がしやすいと思いました。(見逃していたらすみません。)【シルバーエリア】
17. 休館日で正面玄関が開かないのであれば、案内を貼り出すか、案内をする人がいた方がわかりやすかったと思う。【シルバーエリア】
18. 試験の際、会場をもっと明るくしてもらえると、答案が書きやすかったと思う。【ルネッサンスガーデン・プラザ杉の子】
19. 会場の通路で喫煙されると、喫煙しない者にとっては辛い。会場は禁煙でどうでしょうか？【ルネッサンスガーデン・プラザ杉の子】
20. PC やプロジェクターの不具合がないと、より、講義が、深いものになったと感じます。
21. 前日に体調を崩し、事務室に相談しましたがとても丁寧に教えて頂き大変ありがたかったです。その点では大変満足しております。 それをふまえて 前日の 5 時まで HP で返金願いをダウンロードして大学に提出すると返金されることを教えて頂きましたが、前日に体調を崩して大学まで行く体力はありません。5 時まで FAX で送り、後日原本、もし必要なら、医者・所属長の証明を付けて送るとか、対応があるといいと思います。

平成 31 年度担当講師アンケート（抜粋）

学校、教育委員会、文部科学省などに対する意見・要望

1. 以前のように、S、A、B、C、D 評価を望む。 テスト結果からみる到達度に差が大きいためです。
2. 予算をつけ、無料化してほしい。
3. 塑造や、立体制作における教育を充実してほしい。
4. もっと研修の機会を増やし、継続的に学ぶ機会を提供したほうが良い
5. 教育学部の先生ではない我々が講習を受け持つということで、本当に更新に役立つのか、疑問です。 考え直す時期に来ているのではと思います。【「来年度へ向けての要望など」も同様】
6. 文科省では この制度をいつまで続ける予定なのでしょうか？

来年度へ向けての要望など

1. 今年（2019）の場合、申込期間が5/10 ～ 5/15 となっているが、受講者（高校）から部活動の地区総体（県北、中央、県南）とほぼ重なり、 <u>申込期間をずらしてほしい</u> との要望が強く出された。 是非、再考を。
2. 受講者にとって都合が付きやすい日程があれば、教えてもらいたいです。
3. 演習で障がい者スポーツ「ボッチャ」を導入する予定なので、広目の会場だとありがたい（具体的には来年度の計画を立てる段階で相談にのっていただきたい）。
4. 次年度の更新講習の照会時期をもう少し遅らせて頂きたいです。年々早くなっている気がします。（違ってたら、すみません。）
5. 例年通りで十分だと思います。
6. 幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所の方々への講習を独立させ、幼児教育担当者に対応していただきたい。
7. 幼保コースがあれば と思います。
8. 幼保を独立していただきたい。
9. グループでの協議をさせていただいているのですが、校種をまぜて行くと、アンケート等に「協議が深まらないので、同じ校種で組んでほしい」という声が出され、同じ校種で組むと「他の校種の方の話も聞きたかった」という声が出ます。あちらを立てれば、こちらが立たず、という感じですが、何か、よい方法はないでしょうか。
10. 講師の控え室を用意していただき大変助かりました。

- |  |
|--|
| <p>11. 教育学部の先生ではない我々が講習を受け持つということで、本当に更新に役立つのか、疑問です。考え直す時期に来ているのではと思います。【「学校，教育委員会，文部科学省などに対する意見・要望」も同様】</p>   |
| <p>12. 千葉在住の受講者の口から，他大学講座との比較がチョロリと出され，大いに参考になった。「所変われば品変わる」ということで，他県出身者の受講は積極的に推し進めるべきと考える。県外人の受講は，秋田大学の魅力とも解釈できるわけで，本学受講者の本学に対する評価アップにも繋がる視点である。</p> |

平成31年度 秋田大学教員免許状更新講習一覧

講習番号	認定番号	開設講習名	講習の概要	担当講師	開設期間	会場	時間数	定員	認定者数
901	平31-10012-100577号	【必修】教育事情の動向	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもとしての生活の変化を踏まえた課題」について理解を深め、教員として十分な知識技能を有しているか確認し、新たに必要とされる知識技能の獲得を目指す。講義は教育に関わる最新の制度、政策、理論の動向を扱うとともに、教育実践・臨床に関わる具体的な諸問題を取り上げ、受講者参加型の実施形態を目指す。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 原 義彦(大学院教育学研究科教授) 小池 孝範(大学院教育学研究科教授) 細川 和仁(大学院教育学研究科教授) 鈴木 翔(大学院教育学研究科教授) 小林 健一(理工学部非常勤講師) 遠藤 秀弘(国際教養大学、教職課程准教授) 森 和彦(教育文化学部教授) 宮野 素子(教育文化学部准教授) 中野 良樹(教育文化学部教授) 北島 正人(教育文化学部准教授) 佐藤 さゆり(横手市、不登校対応指導「南かがやき教室」教育相談員)	令和1年6月16日	秋田県立農業科学館	6時間	80人	80人
902	平31-10012-100578号				令和1年7月14日	秋田大学	6時間	80人	80人
903	平31-10012-100578号				令和1年7月14日	秋田大学	6時間	80人	78人
904	平31-10012-100579号				令和1年7月25日	横手セントラルホテル	6時間	80人	72人
905	平31-10012-100579号				令和1年7月25日	横手プラザホテル	6時間	80人	44人
906	平31-10012-100580号				令和1年8月5日	ルネサンスガーデン・ブラザ杉の子	6時間	70人	69人
907	平31-10012-100580号				令和1年8月5日	ホテルクラウンパレス秋北	6時間	70人	25人
908	平31-10012-100581号				令和1年8月19日	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	6時間	70人	69人
909	平31-10012-100581号				令和1年8月19日	秋田テルサ	6時間	70人	70人
910	平31-10012-100582号				令和1年9月28日	秋田大学	6時間	70人	69人
911	平31-10012-100582号				令和1年9月28日	秋田大学	6時間	30人	28人
912	平31-10012-100583号				令和1年11月3日	秋田大学	6時間	80人	66人
913	平31-10012-100583号				令和1年11月3日	秋田大学	6時間	80人	24人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	開設期間	時間数	会場	主な受講対象者	対象職種	受講定員	認定者数
701	平31-10012-301180号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小・高コエ)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。面講習とも講義後、ワークセッション形式により、幼・小教師がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができることも、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	工藤 正孝(大学院理工学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 榎田 寿和(教育文化学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授)	令和1年6月15日	6時間	秋田県立農業科学館	幼稚園 小学校 特別支援 学校	特定し ない	50人	50人
702	平31-10012-301187号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コエ)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。面講習とも講義後、ワークセッション形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中高それぞれ立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田中 誠祐(大学院教育学研究科教授) 内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 五内 徹(大学院教育学研究科特別教授) 神居 隆(教育文化学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 工藤 正孝(大学院教育学研究科客員教授) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授)	令和1年6月15日	6時間	秋田県立農業科学館	中学校 高等学校 特別支援 学校	特定し ない	20人	20人
703	平31-10012-301181号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小・高コエ)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。面講習とも講義後、ワークセッション形式により、幼・小教師がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができることも、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	工藤 正孝(大学院理工学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 榎田 寿和(教育文化学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授)	令和1年7月13日	6時間	秋田大学	幼稚園 小学校 特別支援 学校	特定し ない	60人	37人
704	平31-10012-301188号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コエ)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。面講習とも講義後、ワークセッション形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中高それぞれ立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田中 誠祐(大学院教育学研究科教授) 内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 五内 徹(大学院教育学研究科特別教授) 神居 隆(教育文化学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 工藤 正孝(大学院教育学研究科客員教授) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授)	令和1年7月13日	6時間	秋田大学	中学校 高等学校 特別支援 学校	特定し ない	50人	20人
705	平31-10012-301182号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小・高コエ)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。面講習とも講義後、ワークセッション形式により、幼・小教師がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができることも、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	工藤 正孝(大学院理工学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 榎田 寿和(教育文化学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授)	令和1年7月24日	6時間	横手セントラルホテル	幼稚園 小学校 特別支援 学校	特定し ない	60人	46人
706	平31-10012-301189号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コエ)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。面講習とも講義後、ワークセッション形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中高それぞれ立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田中 誠祐(大学院教育学研究科教授) 内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 五内 徹(大学院教育学研究科特別教授) 神居 隆(教育文化学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 工藤 正孝(大学院教育学研究科客員教授) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授)	令和1年7月24日	6時間	横手プラザホテル	中学校 高等学校 特別支援 学校	特定し ない	50人	34人
707	平31-10012-301183号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小・高コエ)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。面講習とも講義後、ワークセッション形式により、幼・小教師がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができることも、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	工藤 正孝(大学院理工学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 榎田 寿和(教育文化学部附属教育学実践研究支援センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授)	令和1年8月6日	6時間	ルネサンスガーデン・プラザの子	幼稚園 小学校 特別支援 学校	特定し ない	60人	40人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	開設期間	時間数	会場	主な受講対象者	対象職種	受講定員	認定者数
708	平31-10012-301190号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。同講習でも講義後、ワークシヨップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田中 誠祐(大学院院教育学研究科教授) 内田 一樹(大学院院教育学研究科特別教授) 廣嶋 隆(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 七瀬 正孝(大学院院教育学研究科客員教授) 三浦 亨(大学院院教育学研究科准教授)	令和1年8月6日	6時間	ホテルクラウンパレス秋北	中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	50人	37人
709	平31-10012-301184号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントについて理解する。同講習でも講義後、ワークシヨップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	工藤 正孝(大学院院理工学部附属教育実践研究支援センター客員講師) 藤田 寿和(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 廣嶋 隆(大学院院教育学研究科特別教授) 神居 徹(大学院院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院院教育学研究科特別教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授)	令和1年8月20日	6時間	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	幼稚園 小学校 特別支援学校	特定し ない	60人	32人
710	平31-10012-301191号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。同講習でも講義後、ワークシヨップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田中 誠祐(大学院院教育学研究科教授) 内田 一樹(大学院院教育学研究科特別教授) 廣嶋 隆(大学院院教育学研究科特別教授) 神居 徹(大学院院教育学研究科特別教授) 七瀬 正孝(大学院院教育学研究科客員教授) 三浦 亨(大学院院教育学研究科准教授)	令和1年8月20日	6時間	秋田テイルサ	中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	50人	21人
711	平31-10012-301185号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントについて理解する。同講習でも講義後、ワークシヨップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	工藤 正孝(大学院院理工学部附属教育実践研究支援センター客員講師) 藤田 寿和(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 廣嶋 隆(大学院院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院院教育学研究科特別教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授)	令和1年9月29日	6時間	秋田大学	幼稚園 小学校 特別支援学校	特定し ない	60人	22人
712	平31-10012-301192号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。同講習でも講義後、ワークシヨップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田中 誠祐(大学院院教育学研究科教授) 内田 一樹(大学院院教育学研究科特別教授) 廣嶋 隆(大学院院教育学研究科特別教授) 神居 徹(大学院院教育学研究科特別教授) 七瀬 正孝(大学院院教育学研究科客員教授) 三浦 亨(大学院院教育学研究科准教授)	令和1年9月29日	6時間	秋田大学	中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	50人	22人
713	平31-10012-301186号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントについて理解する。同講習でも講義後、ワークシヨップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	工藤 正孝(大学院院理工学部附属教育実践研究支援センター客員講師) 藤田 寿和(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 廣嶋 隆(大学院院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院院教育学研究科特別教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授)	令和1年11月2日	6時間	秋田大学	幼稚園 小学校 特別支援学校	特定し ない	60人	13人
714	平31-10012-301193号	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に關わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。同講習でも講義後、ワークシヨップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田中 誠祐(大学院院教育学研究科教授) 内田 一樹(大学院院教育学研究科特別教授) 廣嶋 隆(大学院院教育学研究科特別教授) 神居 徹(大学院院教育学研究科特別教授) 七瀬 正孝(大学院院教育学研究科客員教授) 三浦 亨(大学院院教育学研究科准教授)	令和1年11月2日	6時間	秋田大学	中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	50人	18人



講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	開設期間	時間数	会場	主な受講対象者	対象職種	受講定員	認定者数
751	平31-10012-301168号	【選択必修】幼児期の「教育」と「保育」	幼稚園教育要領等改訂の背景、特に幼児教育施設の現状や、保育の長時間化・早期保育化という近年の状況の変化をとりえ、現代の保育の課題を探る。保育者の保育観や教育観などを調査等によって把握し、幼児期にふさわしい教育のあり方を、「教育」「保育」をキーワードとして考察する。考察では養護と教育の一体化、ケアと教育の関係について考え、幼児教育における計画や評価の独自性を改訂幼稚園教育要領をもとに考察し、実践の省察の在り方を理解することを旨とする。	奥山 順子(教育文化学部教授)	令和1年6月15日	6時間	秋田大学	幼稚園	特定しない	50人	49人
752	平31-10012-301167号	【選択必修】幼児期の「発達」と「教育」	発達理解を基盤とした幼児期にふさわしい教育のあり方を考察する。特に発達過程の質的把握、「結果としての」発達、という観点から実践を省察することを旨とする。また遊びの中での子どもの身体的な姿を丁寧に見えらることも子どもを取り巻く状況の変化、幼稚園教育要領等の改訂をふまえながら、幼児期特有の「発達」と「教育」についての理解を深める。	山名 裕子(教育文化学部教授)	令和1年6月22日	6時間	秋田大学	幼稚園	特定しない	60人	59人
753	平31-10012-301179号	【選択必修】幼児期の「発達」と「教育」	発達理解を基盤とした幼児期にふさわしい教育のあり方を考察する。特に発達過程の質的把握、「結果としての」発達、という観点から実践を省察することを旨とする。また遊びの中での子どもの身体的な姿を丁寧に見えらることも子どもを取り巻く状況の変化、幼稚園教育要領等の改訂をふまえながら、幼児期特有の「発達」と「教育」についての理解を深める。	山名 裕子(教育文化学部教授)	令和1年6月23日	6時間	秋田大学	幼稚園	特定しない	60人	59人
754	平31-10012-301169号	【選択必修】学校カウンセラーの実際問題について	「児童・生徒との関わりに対して今までは違った視点を持つこと」をテーマとし、実習や事例検討、グループワークなどを通して、自分自身の児童・生徒の見方についての理解を深めたり、対応に困っている事例に対して、それまでとは異なる関わり方や視点を持たための方法について学んでいきたいと思えます。そのため参加者の方には、これまで学校で関わってきた事例を提供していただく場合があります。	柴田 健(教育文化学部教授)	令和1年7月6日	6時間	秋田大学	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	25人	22人
755	平31-10012-301178号	【選択必修】学校カウンセラーの実際問題について	「児童・生徒との関わりに対して今までは違った視点を持つこと」をテーマとし、実習や事例検討、グループワークなどを通して、自分自身の児童・生徒の見方についての理解を深めたり、対応に困っている事例に対して、それまでとは異なる関わり方や視点を持たための方法について学んでいきたいと思えます。そのため参加者の方には、これまで学校で関わってきた事例を提供していただく場合があります。	柴田 健(教育文化学部教授)	令和1年7月20日	6時間	秋田大学	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	25人	24人
756	平31-10012-301176号	【選択必修】養護教諭の実践的向上をめざして	今日、学校及び養護教諭が直面している課題を整理して、考察を運ぶ。また、学校で子どもたちの最後の砦といわれる「保健室」を運営するにあたって、留意しなければならない事項やスキルを講義演習で習得し、実践力の向上を目指す。	小笹 典子(日本赤十字秋田看護大学 非常勤講師) 手塚 裕(日本赤十字秋田看護大学) 井上 誓行(日本赤十字秋田看護大学)	令和1年7月29日	6時間	日本赤十字秋田看護大学	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	30人	9人
757	平31-10012-301173号	【選択必修】子どもの生活と幼児教育	本講習では、子どもを取り巻く環境の変化や子どもを取り巻く諸問題にふれながら、幼児期にふさわしい生活について考察する。幼稚園教育要領等の改訂の経緯や現代の保育の課題をとりえ、子どもの「生活」をキーワードに、子どもにとっての園生活の意味や家庭や地域における子どもの生活について、子どもの具体的な姿から理解を深める。	瀬尾 知子(教育文化学部准教授)	令和1年8月4日	6時間	秋田大学	幼稚園	特定しない	60人	59人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	開設期間	時間数	会場	主な受講対象者	対象職種	受講定員	認定者数
758	平31-10012-301171号	【選択必修】実践に生かす「教育・保育制度」	① 教育・保育を支える法制度の基本を理解する。② 要領・指針等の改訂の背景と、国が目指す幼児教育の方向性を理解し、実践に生かす。③ 教育・保育施設における危機管理上の課題(法的責任を含む)を考察し、実践に生かす。	五十嵐 隆文(聖園学園短期大学 教授)	令和1年8月7日	6時間	聖園学園短期大学	幼稚園	特定しない	40人	14人
759	平31-10012-301175号	【選択必修】実践に生かす「教育・保育制度」	① 教育・保育を支える法制度の基本を理解する。② 要領・指針等の改訂の背景と、国が目指す幼児教育の方向性を理解し、実践に生かす。③ 教育・保育施設における危機管理上の課題(法的責任を含む)を考察し、実践に生かす。	五十嵐 隆文(聖園学園短期大学 教授)	令和1年8月9日	6時間	聖園学園短期大学	幼稚園	特定しない	40人	9人
760	平31-10012-301170号	【選択必修】道徳教育の方向性と課題	平成27年に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」が「特別の教科」である道徳になり、また、学習指導要領も改正された。その背景について園の審議会の状況等をふまえて整理し、道徳教育の現状と課題等について検討する。その上で、「特別の教科・道徳」の学習指導案の作成を通して、「考え」、「議論する」授業展開のあり方について検討する。	小池 孝範(教育文化学部准教授)	令和1年8月18日	6時間	秋田大学	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	50人	21人
761	平31-10012-301172号	【選択必修】キャリア教育と日常の接続～自己理解と協働・学びの必要性の理解	「自己理解」「周囲との関係や役割、協力の必要性の理解」「学校生活と将来・社会との接続」「職業的体験(等のキャリア教育)に関するテーマについて、各種ワークショップ・ディスカッションも活用して総合的に理解・実践できることを目指す。	渡部 昌平(秋田県立大学 総合科学教育研究センター准教授)	令和1年8月21日	6時間	秋田県立大学	小学校 中学校 高等学校	特定しない	40人	23人
762	平31-10012-301177号	【選択必修】道徳教育の方向性と課題	平成27年に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」が「特別の教科」である道徳になり、また、学習指導要領も改正された。その背景について園の審議会の状況等をふまえて整理し、道徳教育の現状と課題等について検討する。その上で、「特別の教科・道徳」の学習指導案の作成を通して、「考え」、「議論する」授業展開のあり方について検討する。	小池 孝範(教育文化学部准教授)	令和1年9月14日	6時間	秋田大学	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	50人	6人
763	平31-10012-301174号	【選択必修】教育と男女共同参画社会	この講義では、女子高校生の大学進学率が低い傾向、理系分野で女性が少ない状況、特定の職業に特定の性別が多い状態、子どもへの負担と女性の就労、雇用条件などとの関連など、教育と進路選択、キャリア形成にかかわる問題をとりあげながら、ジェンダーの基本的な考え方とともに、「男女共同参画社会基本法」などで用いられている「ポジティブ・アクション」について説明し、学校教育が男女共同参画社会へ向けた取り組みのなかで、どのような役割をはたしていけるのかを考えていきます。	和泉 浩(教育文化学部教授)	令和1年11月16日	6時間	秋田大学	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	30人	25人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
101	平31-10012-504333号	【選択】地域生活とスポーツ	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進や住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備は、今日のスポーツ政策における重要な課題となっている。本講習では、現代社会において営まれる人ひとりの地域生活を基点として、これらの政策課題に関連した取り組みの実態とその問題性についての理解を深める。	伊藤 恵造(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月1日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校(保健体育)、高校(保健体育)	30人	22人
102	平31-10012-504336号	【選択】食品科学の最新線(食の安全確保、健康維持機能の活用、世界の食糧需給構造について)	【全体の概要】食品科学に関する基礎知識及び最近の食をめぐる様々な問題について解説する。【食の安全と安心】放射能汚染問題や学校給食におけるアレルギー等の食の安全に係わる問題について解説する。【食とメタボリック症候群】高糖質・メタボリック症候群の実態を紹介し、食の健康維持機能について解説する。【食の近未来】世界の食糧需給構造や、わが国の近未来における食の安全保障について解説する。	秋山 美展(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授)	秋田県秋田市	18時間	令和1年6月1日、令和1年6月2日、令和1年6月8日	秋田県立大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校(理科、家庭)、養護教諭、栄養教諭、栄養教諭	20人	8人
103	平31-10012-504347号	【選択】思春期の交友関係と学校～友だち関係、恋愛からいじめまで～	この講習では、具体的なデータをもとにして、①「思春期の子どもたちにとって、友だちはどのような存在なのか?」②「思春期の子どもたちにとって、恋愛はどのような意味を持つのか?」③「彼らがいじめを止められないのかはなぜか?」という3つの疑問を解き明かすことにより、彼らが学校でどんな日常生活を送っているのかを考察します。その現状を踏まえつつ、実践的な解決策を構築していきます。	鈴木 翔(大学院理工学研究科講師)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月2日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、養護教諭、中学校、高校、養護教諭、教科、専攻科、栄養教諭	20人	20人
104	平31-10012-504334号	【選択】火山・地震の実験教材と野外観察	小学校6年生理科、中学校1年生理科の大地をテーマにした分野、高校地学基礎の地震や火山の分野は、児童生徒に実感させ理解させることがたいへん難しい分野です。この困難を解決すべく開発されたわかりやすい実験教材を紹介します。また、会場のにかほ市は、地震や噴火による大地の変化を見学するには最適な場所です。みなさん自身に考えていただきながら楽しく実内いたします。本講習を受講して授業ですぐ使える知識・技能を持ち帰りましょう。なお、この講習は、郷土教育や防災教育にも役立ちます。小中学校の理科以外の先生もふるってご参加ください。	信太郎(大学院教育学研究科教授)	秋田県にかほ市	6時間	令和1年6月2日	にかほ市 象潟構造 改善センター タワー	教諭 養護教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、養護教諭、教科、専攻科、養護教諭	20人	20人
105	平31-10012-504339号	【選択】小学校理科における効果的な観察・実験	小学校理科教科書に記載されている観察・実験について検討を行い、どのような点に留意すると児童より学習目標を達成できるのか、さらにどんな工夫ができるのかについて、実際に観察・実験を行いながら学ぶ。また、その観察・実験のバックグラウンドとなる理論についての理解を深める。	田口 瑞穂(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月8日	秋田大学	教諭	小学校	20人	6人
106	平31-10012-504337号	【選択】特別支援教育～知的障害児の理解と教育の実践	障害児の理解に向けて、知的障害児を中心に文化史や教育史といった歴史的背景や発達のとらえ方から考え、また、知的障害児教育には、指導法としての領域・教科を合わせた指導など、指導内容及び指導方法に関する独自性が存在する。そこで、知的障害児の学習上の特性に応じた対応の基本を中心に、教育課程の在り方も含めて教育現場の指導実践例も紹介しながら学んでいく。	谷村 佳則(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月8日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、養護教諭、教科、専攻科、養護教諭、栄養教諭	50人	50人
107	平31-10012-504332号	【選択】美術教育における題材体験(平面)	美術教育における平面の様々な表現を体験して、児童・生徒の関心・意欲・態度を高め、表現する力を伸ばす指導力を身に付ける。併せて題材などを開発する力を身につける。	長瀬 達也(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月8日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校(美術)、高校(美術)	12人	12人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
108	平31-10012-504331号	【選択】男鹿半島のジオパークで学ぶ大地の歴史	男鹿半島・大湯ジオパークにおける小学生～高校生へのいづれかの集団による野外実習を想定した実践的な講習を行う。講習では、野外学習計画立案の仕方、男鹿半島の野外学習における地層学習に好適な場所とその意義、児童生徒の安全確保のための下見のポイント、災害発生等緊急時の対応策などについて、過去の事例をもとに解説する。このような講習を通して、野外学習の意義と安全確保について理解させることをねらいとする。	川村 教一(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市、 男鹿市	12時間	令和1年6月9日、 令和1年6月16日	秋田大学、男鹿市、ジオパーク学習センター	教諭	小学校、特別支援学校、中学校、高校(理科)、高校(理料)	23人	廃止
109	平31-10012-504338号	【選択】特別支援教育一障害児の教育Ⅱ	我が国は、国連の「障害者の権利に関する条約」に批准し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築をめざしています。講習では、インクルーシブ教育の理念、求められる合理的配慮と基礎的環境整備、今後学校教育に求められる取組について、演習を交えながら考えていきます。	藤井 慶博(大学院教育学研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年6月15日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、全教科、養護教諭、栄養教諭	50人	26人
110	平31-10012-504349号	【選択】「人生の樹」プロジェクトを用いた特別活動の実践と検証	【人生の樹】プロジェクト:臨床心理士のナラティブアプローチを基に、特別活動の時間向けに開発したキャリア学習の教材。その実践研究を行う。六月の講習は「人生の樹」に関する講義と運用説明、ならびにキャリア等に関する受講者の取り組み状況についての発表。夏休み後に各所属校で「人生の樹」を実践し、十一月の講習では全員がその実践報告・課題点について発表、お互いに討論し合う内容を試験とする。	森 和彦(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	12時間	令和1年6月15日、 令和1年11月9日	秋田大学	教諭	小学校(高学年)、特別支援学校(中学部・高等部)、中学校、高校で特別活動の時間を担当できるもの	15人	廃止
111	平31-10012-504435号	【選択】思春期の交友関係と学校～友だち関係・恋愛からいじめまで～	この講習では、具体的なデータをもとにして、①「思春期の子どもたちにとって、友だちとはどのような存在なのか?」②「思春期の子どもたちにとって、恋愛はどのような意味を持つのか?」③「彼らがいじめを止められぬのはなぜか?」という3つの疑問を解き明かすことにより、彼らが学校でどんな日常生活を生きているのかを考察します。その現状を踏まえ、実践的な解決策を模索していきます。	鈴木 翔(大学院理工学研究科講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年6月22日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、養護教諭、中学校、高校、全教科、養護教諭	20人	20人
112	平31-10012-504341号	【選択】秋田県の地震・津波災害と防災・減災教育	2011年に発生した東日本大震災以降、地域に則した防災教育の必要性が高まっている。また、秋田県では過去に多くの地震や津波災害が発生している。本講習では、秋田県の地震、津波の発生メカニズム、特性といった基礎的なことを説明した後、これら災害の歴史と特徴について説明する。そして、防災・減災へ向けて、これらの災害への対策や課題、防災教育のあり方について説明する。	水田 敏彦(地方創生センター教授) 鎌滝 孝信(地方創生センター准教授)	秋田県 大仙市	6時間	令和1年6月22日	大曲交流センター	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、養護教諭、中学校、高校、全教科、養護教諭	45人	41人
113	平31-10012-504340号	【選択】小学校理科の天文実習	主として理科を専攻としない小学校教員、地学を専攻としない中学校理科教員を対象として、小学校理科のうち天文領域について、学習指導要領記載の学習項目に天体認識や天体観察の形態などを紹介する。また、天体観察方法や教材開発について実習を行い、小学校4年生もしくは6年生の理科の授業のための教材研究の指針を与える。	川村 教一(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年6月23日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(理科)	30人	廃止
114	平31-10012-504344号	【選択】言語表現の可能性を探る	この講習では言語表現の可能性について考えます。そのために、まずは言葉の仕組みや働きを言語学的な視点から分析します。その分析をもとに、言葉の持つ力、その逆の弱さ、盲点などを事例を交えて検討します。それらを総合的に踏まえ、言葉が学校教育ならびに日常の言語生活において果たしている役割を追究します。	大橋 純一(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年6月29日	秋田大学	教諭	中学校(国語)、高校(国語)	20人	8人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
115	平31-10012-504374号	【選択】法教育と消費者教育	平成25年6月に政府は「消費者教育の推進に関する基本的方針」を決定し、学校教育においても実践的教育が求められている。そこで、本講習では、法教育と消費者教育をとりあげ、中学校期、高等学校期において体系的に行われる消費者教育と、法教育の関わりを学ぶ。特に、民法の基本原則と消費者保護の関わりを取り上げながら、インターネットでの「契約」を学ぶ様々な契約について学ぶ。	加納 隆徳(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月29日	秋田大学	教諭	中学校(社 会) 高校(公 民)	20人	2人
116	平31-10012-504366号	【選択】小学校教師の数学的活動	数学的活動とは、児童が目的意識を持って主体的に取り組む算数にかかわりのある様々な活動の意味する。具体的には「目を付ける」「考える」「調べる」「比べる」「話す」「使う」「振り返る」を繰り返して展開させるといった活動であり、それらが算数を学ぶ楽しさ、自ら算数を学び続けることにつながる。活動から学びへの一連の意識的なプロセスの形成には、それをデザインする教師の経験が重要である。本講習では、児童の数学的思考力を育む良問を分析し、授業化を検討していく。	佐藤 学(教育文化学部教授) 田中 誠祐(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月29日	秋田大学	教諭	小学校	10人	6人
117	平31-10012-504335号	【選択】保健体育科教育概論-体育の授業をつくりかえる-	体育の目標や学習内容を確認し、各運動領域の特性を習得するための教材づくり、単元計画の立案の留意点を学ぶ。また、授業をふりかえるための授業研究の方法や評価項目についても検討を行う。	松本 奈緒(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年6月29日	秋田大学	教諭	小学校 中学 校(保健体 育)、高校(保 健体育)	50人	8人
118	平31-10012-504343号	【選択】幼児音楽指導法	①こどもの歌・童謡を歌う。 ②楽譜の基礎知識・ソルフェージュを学ぶ。 ③楽器しながらコードを使った伴奏法を学ぶ。 ④幼児が親しみやすい楽器の種類と奏法を知り、演奏できるようにする。	佐藤 真由子(聖霊女子短期大学生生活文化科生活こども専攻講師)	秋田県秋田市	6時間	令和1年7月6日	聖霊女子短期大学	教諭	幼稚園	20人	20人
119	平31-10012-504361号	【選択】三角関数(値)がスッキリ分かる指導方法を探る	三角関数(三角比含む)は、上級学校への入試に課せられるだけでなく、理工学を学ぶ上で必須の基礎的関数の代表である。しかし、三角関数値すらまよって求められない生徒・学生が少なからずいる。そこで、①指導展開例紹介、②定義を理解できない学習者心理を推しはかる(小中学まで戻る)、③定義指導の要、④指導方法検討、⑤三角関数の活用例(弧度法、近似式、マクローリン級数、フーリエ級数)を取り上げ、指導改善を図る。	根岸 均(秋田大学非常勤講師・客員教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年7月6日	秋田大学	教諭	高校(数学・工 業・理科(特に 物理))	8人	廃止
120	平31-10012-504456号	【選択】秋田県の地震・津波災害と防災・減災教育	2011年に発生した東日本大震災以降、地域に即した防災教育の必要性が高まっている。また、秋田県では過去に多くの地震や津波災害が発生している。本講習では、秋田県の地震、津波の発生メカニズム、特性といった基礎的なことを説明した後、これら災害の歴史と特徴について説明する。そして、防災・減災へ向けて、これらの災害への対策や課題、防災教育のあり方について説明する。	水田 敏彦(地方創生センター教授) 鎌滝 孝信(地方創生センター准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年7月6日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学 校 特別支援 学校、養護教 諭、中学校全 教科、高校全 教科、栄養教 諭	80人	59人
121	平31-10012-504345号	【選択】高校地学基礎教材開発演習(天文・気象海洋領域)	中等教育理科・地学領域、特に高等学校学習指導要領理科の科目「地学基礎」の内容のうち天文領域および気象・海洋領域について、主として地学を専攻しない教員を対象として学習指導要領記載の学習項目について解説するとともに、教科内容を科学的な立場から最新の自然科学的な知見を解説する。これら学習項目の教材を開発する際の素材の選定などについて、実践的な例を取り上げながら演習を行う。	川村 教一(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年7月7日	秋田大学	教諭	中学校(理 科) 高校(理 科)	20人	廃止

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
122	平31-10012-504430号	【選択】食品科学の最新線（食の安全確保、健康維持機能の活用、世界の食糧供給構造について）	【全体の概要】食品科学に関する基礎知識及び身近の食をめぐる様々な問題について解説する。【食の安全と安心】放射能汚染問題や学校給食におけるアレルギー等の食の安全に係わる問題について解説する。【食とメタボリック症候群】急増するメタボリック症候群の実態を紹介し、食の健康維持機能について解説する。【食の近未来】世界の食糧供給構造や、わが国の近未来における食の安全保障について解説する。	秋山 美展（秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授）	秋田県 秋田市	18時間	令和1年7月7日、 令和1年7月13日、 令和1年7月14日	秋田県立 大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校（理科）、家庭、農業、工業、看護教諭、栄養教諭	20人	15人
123	平31-10012-504400号	【選択】佐竹氏と東国の大名たち-近世大名の成立過程-	佐竹氏は21世紀幕府の時代に常陸より出羽国秋田に移封し、義宣が初代藩主となって秋田藩を形成する。天正18年(1590)、小田原の北条氏が豊臣秀吉に屈服すると、義宣は北条氏の旧領に移された徳川家康と対峙したが、それまで庄内、北条氏と北の伊達氏に挟まれ、厳しい軍事緊張下に置かれていた。講習では、佐竹氏が上杉氏や武田氏、譜名氏や岩城氏等と合従連衡を繰り返しながら近世大名へと転換した歴史過程について考察する。	渡辺 英夫（教育文化学部教授）	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月7日	秋田大学	教諭	小学校、中学校、高校（社会）、高校（地理）	10人	5人
124	平31-10012-504346号	【選択】子どもの心の問題と心理的支援	子どもの心の問題について理解を深めるために、基礎的な考え方として、発達理論や臨床心理学からの視点を探る。心の問題の捉え方、対応の仕方を学びます。特に、幼児期から児童期の子どもに現れやすい心の問題を取り上げ、教員としてどのように対応したらいいか、演習を通して学びます。	織田 米子（聖霊女子短期大学生活文化科教授）	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月13日	聖霊女子 短期大学	教諭	幼稚園	40人	39人
125	平31-10012-504348号	【選択】美術教育の彫刻（塑造）について題材・素材体験	美術教育における彫刻表現（塑造表現）の題材となるテーマの発想と、実際に彫刻作品を制作する素材を研究する。芯材を用い、自然硬化する粘土で人体表現や動物、植物など、授業に応用しやすい素材を学ぶ。立体表現に不可欠な空間把握能力や触覚による量を把握する能力を向上させる効果を考察する。何よりも「制作する喜び・楽しさ」を生徒に伝えるすべを学ぶ。	皆川 嘉博（秋田公立美術大学美術学 科准教授）	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月13日	秋田公立 美術大学	教諭 養護教諭	中学校（美術）、高校（美術）	10人	7人
126	平31-10012-504439号	【選択】特別支援教育—知的障害児の理解と教育の実践—	障害児の理解に向けて、知的障害児を中心に文化史や教育史といった歴史的背景や発達のとらえ方から考えていく。また、知的障害児教育には、指導法としての領域・教科を合わせた指導など、指導内容及び指導方法に関する独自性が存在する。そこで、知的障害児の学習上の特性に応じた対応の基本を中心に、教育課程の在り方も含めて教育現場の指導実践例も紹介しながら学んでいく。	谷村 佳則（教育文化学部准教授）	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月20日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、全教科、養護全教科、看護教諭	50人	50人
127	平31-10012-504351号	【選択】美術教育における鑑賞学習	美術教育における鑑賞学習の指導力を身に付けるために、鑑賞学習の基礎的な知識を身に付け、さらに美術館での鑑賞を体験する。そして、鑑賞学習の授業を作成する。特に児童・生徒の関心・意欲・態度を高めることを主眼とする。	長瀬 達也（大学院院教育学研究科教授）	秋田県 秋田市	6時間	令和1年6月29日	カレッジ プラザ	教諭	小学校、特別支援学校、中学校、高校（美術）	12人	12人
128	平31-10012-504414号	【選択】幼児の理解と評価	幼児の教育・保育を充実させていく上で不可欠で重要な専門性は「幼児の理解」であり、改めて、主体的な活動の確保、一人一人の行動の理解と予想に基づいた、計画的な環境を構成すること、さらには幼児一人一人の発達を保障していくために、保育において、何をどのように評価していくのかを考察する。	島山 君子（聖霊女子短期大学講師）	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月20日	聖霊女子 短期大学	教諭	幼稚園	40人	40人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
129	平31-10012-504371号	【選択】秋田の水を題材とした環境教育	秋田県内の各地には湧水や河川、湖沼など多様な水環境が存在しており、これらの中には歴史的名産や伝承を有するものも多い。本講習では、このような水環境を題材として講義ならびに野外演習を行い、環境教育(環境の科学的な特徴や人々との関わり)についての過去、現状、未来の環境変化の可能性について学習することで、生徒の環境問題にかかわるリテラシーや環境問題を身近な問題として捉える能力を高める。実習対象地域には角館市街地周辺を予定。	林 武司(教育文化学部教授)	秋田県 仙北市	6時間	令和1年7月20日	角館公民館	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、全教科、高校全教科	10人	10人
130	平31-10012-504342号	【選択】近代文学の読解	明治以降、昭和にかけての近代小説をおもな題材とする。語り方、登場する人・物・生きものの関係など、読解の観点について考える。また、作品が発表された時代・社会的背景、文芸思潮や文学観との関連をふまえて考える。	山崎 義光(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月20日	秋田大学	教諭	中学校(国語)、高校(国語)	30人	5人
131	平31-10012-504352号	【選択】高校数学からの微分方程式	高校数学(微分積分)の延長として、微分方程式(変数分離形、一階線形)の初歩を学ぶ。具体的には微分方程式の解の求め方(計算)と簡単な理論(証明)を行う。また高校数学に現れる『平均値の定理』、『原始関数』、『定積分』などの基礎定理の復習も行う。微分積分のより深い理解を目指す。	原田 潤一(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月21日	秋田大学	教諭	高校(数学)	20人	廃止
132	平31-10012-504353号	【選択】学校教育と憲法	18歳選挙権に関わる問題(政治教育はどのように行えばよいのか、高校生の政治活動はどこまで認められるのか等)や学校における児童・生徒の基本的権利など、学校教育において憲法をどのように活かすことができるのかについて、さまざまな事例を検討することを通じて解説する。	楳久 敬(教育文化学部講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月21日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(社会)、高校(地歴・公民)	30人	4人
133	平31-10012-504356号	【選択】秋田の近代文学	プロレタリア文学運動の嚆矢となった雑誌『種々人』の主要同人(小牧近江、金子法文、今野賢三)戦後の大ベストセラー作家石坂洋次郎、農民文学の代表的作家伊藤永之介、最後のプロレタリア作家と言われた行動派の松田時子、美貌の女流と謳われた矢田津世子ら、秋田県ゆかりの作家の人生と文学活動について解説する。また、彼らの作品の教材化(「国語」「ふさ」と学習)の可能性も探りたいと考えている。	高橋 秀晴(秋田県立大学総合科学教育研究センター教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月22日	秋田県立大学	教諭	中学校(国語)、高校(国語)	40人	4人
134	平31-10012-504357号	【選択】絵本を用いた授業のデザイン	絵本という視覚的刺激と聴覚的刺激を有する媒体を用いて、英語の授業をデザインする。理論面では、第二言語習得論の関連する知識について、講義とディスカッションによりその理解を深める。実践面では、参加者の児童生徒の興味関心や言語能力に適した授業を、絵本の特徴を生かしてデザインする(指導案作成とミニ模擬授業の試み)。絵本の特色とした英語の授業をデザインすることを通じて、授業改善に役立てる視点を養う。筆記試験は、実践に必要な知識と、実践の改善に知識を生かす省察を問う。	佐々木 雅子(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月23日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(英語)、高校(英語)	12人	5人
135	平31-10012-504355号	【選択】総合的な学習の時間と地域創生「食と文化」	総合的な学習の時間を充実させるために、地域の伝統的な食文化や虫跡などの教材化を通して、授業力の向上を図る。当日は、秋田内陸縦貫鉄道とその沿線地域から地域課題を設定し、地域課題解決のためのフィールドワーク及び教材開発に関する講義・試験が主な内容となる。	濱田 純(秋田大学北秋田分校長)	秋田県 北秋田市	6時間	令和1年7月24日	秋田内陸縦貫鉄道、北秋田市交流センター	教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、全教科、高校全教科、栄養教諭	30人	30人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
136	平31-10012-504359号	【選択】データとコンピュータを使った人間の行動と社会の分析	税務が働く時間に与える影響や、労働市場における失業の変化の要因など、極めて実践的、現実的な社会経済の問題について、簡単な数学的なモデルと、国際的や時系列の統計データ、エクセルを使って、分析する方法を学び、それを実践する。数学、データ、コンピュータをすべてバランスよく使うことが特徴である。	儀典和(国際教養大学国際教養学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年7月26日	国際教養大学	教諭	中学校(数学・理科・家庭)・高校(数学・理科・家庭・情報・農業・工業・水産・商業)	20人	廃止
137	平31-10012-504362号	【選択】秋田県の自然エネルギーと環境発電技術(緑電・発電・太陽光発電)	環境発電技術とは「光・熱(温度差)・振動・電波・電波」等の身の周りの環境中に存在するエネルギーを電力に変換する技術である。従来はその得られる電力量の少なからほとんど利用されてこなかったが、近年のデバイスの高性能化によって美なされつつある。本講習では、環境発電の概要、環境発電技術の一つである熱電変換と太陽光発電について、そして秋田県の自然エネルギーの特徴とその環境発電への応用の可能性について学ぶ。	長南安紀(秋田県立大学システム科学技術学部助教) 山口博之(秋田県立大学システム科学技術学部助教) 布田深(秋田県立大学理工学工学研究科准教授)	秋田県田利本荘市	6時間	令和1年7月27日	秋田県立大学	教諭	小学校、中学校(理科・技術)・高校(理科・工業)	25人	12人
138	平31-10012-504421号	【選択】ゆざわジオパークで学ぶ大地のつくりと変化	小学校や中学校理科の学習においては、実際の地層や露頭の観察を行う内容があるが、その野外観察の実施率は低い。その理由の一つとして、実際の露頭などでの指導方法に自信がない、ということが明らかになっている。そこで、ゆざわジオパークを利用して実際の露頭観察等を行い、野外観察学習の実践を体験する。その上で、指導方法を学んだり考えたりすることで、資力、能力を高め、現場にて野外観察実習を指導できるようにすることを目的とする。	田口瑞穂(教育文化学部講師)	秋田県湯沢市	6時間	令和1年7月29日	高松地区センター	教諭	小学校、中学校(理科)	15人	15人
139	平31-10012-504364号	【選択】確率統計-基礎と応用-	高等学校で習う数学をベースに、確率論と数理統計学の基礎と応用について学びます。確率、確率変数、期待値等の基本的な概念の理解、及び、統計量や、確率分布、相関、回帰分析の概念、標本から全体を推測するための統計的推定や統計的仮説検定などの考え方が主テーマです。数理統計にかかわる応用問題、数理モデルについても扱い、数学的視点と応用・役立つ方としての視点で解説します。簡単な計算による演習も実施します。専門的な数学・統計学の予備知識等は必要としません。	星野満博(秋田県立大学システム科学技術学部准教授) 木村寛(秋田県立大学システム科学技術学部教授)	秋田県田利本荘市	6時間	令和1年7月29日	秋田県立大学	教諭	中学校(数学)・高校(数学)	30人	6人
140	平31-10012-504363号	【選択】木材の科学	石油の大量消費により生活は豊かになったが、地球温暖化などのグローバルな問題も生じており、21世紀は循環型資源に基づいた社会に変換することが求められている。そのためには、地球上で最も多量に存在する循環型資源である木材を効率的に利用することが肝要である。本講習は、1)木材の成り立ちや化学的組成、物理的性質など木材の科学的知見を6時間、2)木質資源の現状とCO2循環と温暖化抑制への寄与などについて6時間、3)紙材や木質材料、紙、アルコール発酵や土木的利用などの代表的な利用について6時間を予定している。	中村 昇(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 林 知行(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 山内 繁(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 高木 康司(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 栗本 克彦(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 佐々木 真直(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 川井 安生(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 渡谷 英(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 渡辺 千明(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 岡崎 泰男(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 山内 秀文(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授) 足立 幸司(秋田県立大学本学本学高度加工研究所教授)	秋田県能代市	18時間	令和1年7月29日～ 令和1年7月31日	秋田県立大学	教諭	中学校(数学・理科・技術)・高校(数学・理科・農業・工業)	10人	4人
141	平31-10012-504448号	【選択】三角関数(値)がスッキリ分かる指導方法を探る	三角関数(三角比含む)は、上級学校への入試に課せられるだけでなく、理工学を学ぶ上で必須の基礎的知識の代表である。しかし、三角関数値からキリッと求められない生徒、学生が少なからずいる。そこで、①指導展開例紹介、②定義を理解できない学習者心理を推しはかる(小中学校まで戻る)、③定義指導の要、④指導方法検討、⑤三角関数の活用例(弧度法、近似式、マクロローン級数、フーリエ級数)を取り上げ、指導改善を図る。	根岸 均(秋田県立大学非常勤講師・客員教授)	秋田県大仙市	6時間	令和1年7月30日	大曲交流センター	教諭	高校(数学・工業・理科(特に物理))	8人	廃止
142	平31-10012-504365号	【選択】英語研究と英語教育	残念ながら現在でも、日本の中学校、高等学校の英語教科書には現代英文法研究の成果が十分に組み込まれていないと言われている。この状況を踏まえ、本講習では受講の先生方に、1)現代英文法研究の成果をできる限り深く、的確に理解し、2)英語表現への感受性を高め、3)生徒らによる英語表現への分析力を向上させていただく、4)将来の英語教育において、これまで以上に英文法も含め、英語をできる限り英語のみを使用して教えていただきたいようになることを主な目的とする。	星 宏人(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年7月30日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(英語)・高校(英語)	15人	廃止



講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
143	平31-10012-504358号	【選択】地域を体験できる日本文史	秋田県内の遺跡を冒険し、「地域の歴史」を題材に体験学習用の教材作成を行う。小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴・公民)、および総合学習に対応できるように、メニューを提案する。また、「生きる力」を考えた教材作成のメニューを提案する。	渡部 育子(秋田大学名誉教授)	秋田県 秋田市、 大仙市	18時間	令和1年7月31日、 令和1年8月2日、 令和1年8月4日	秋田大学 県埋蔵文化財センター、 秋田 城跡	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴・公民)	25人	14人
144	平31-10012-504369号	【選択】算数・数学を楽しく量感・量の形成(イメージ)する力を付けよう	スマホやパソコンが必需品となり、世の中にはまさにデジタル全盛期です。その一方で子供たちの量感(アプロク)はどうかといはば極めて「貧弱」と言わざるを得ません。量による裏付けのない数値は子供にとって単なる記号と認識されがちであり、いざお父さんからの知的好奇心・学習意欲の向上に支障が出ます。子供たちの心理を踏まえ、量概念の形成について小中高を貫く指導方法を深めます。	根岸 均(秋田大学非常勤講師・客員教授)	秋田県 北秋田 市	6時間	令和1年8月1日	北秋田市 交流センター 1号	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(数学)、高校(数学)	10人	7人
145	平31-10012-504379号	【選択】基礎から応用まで、わかりやすい最新バイオテクノロジー	バイオテクノロジーはますます脚光を浴びている。最近では、ヒト多能性細胞を遺伝子操作などで作ることもできるようになり、応用への期待が高まっている。バイオ技術はDNAを取り扱うことから発展してきた。そこで遺伝子DNAを実際に生物から抽出する実験を行い、教育現場での応用について考えてみる。また、最新のバイオテクノロジーについて解り易く解説し、その倫理的側面についても生徒と一緒に考える材料を提供する。	福島 淳(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授) 水野 幸一(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科准教授) 志村 洋一郎(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科助教) 竹下 和貴(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科助教)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月1日	秋田県立 大学	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(理科)、高校(理科)、農業・工業・水産)	30人	12人
146	平31-10012-504386号	【選択】生物分野の実験教材を体得する	現在の教育現場は、生物分野の教材研究を行う際に時間的・技術的・設備的制約が多く、十分な教材研究が行われていないとは言えない状況にある。特に小学校教員の現場では、理科の実験を不得意と見なされることが少なくない。そこで本講義では、小・中・高の教育現場における生物分野の教材作りを受講者に実際に体得してもらおう。具体的には、顕微鏡を用いた教材作り・解剖教材作り・デジタル教材作りなどを体得してもらおう。	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	18時間	令和1年8月2日～ 令和1年8月4日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(理科・技術・家庭・高等家庭・情報・農業・工業・水産)	16人	9人
147	平31-10012-504394号	【選択】情報デザイン入門	一般的に「デザイン」は造形表現の対象として扱われるが、現在では「世の中の諸問題を解決する手段」として重視されている。学校現場の場面でも、学習環境の改善、教材研究の効率化など、有効に作用する部分が多く存在する。このデザインを「情報」という面からみると「わかりやすさ」をどのようにつくっていくか」ということがポイントとなる。本講義では「わかりやすさ」のデザインをキーワードに「情報デザイン」の基礎的な内容について理解を深めるとともに、情報デザインを展開する上で必要な知識・技術の習得を目的とする。	石井 宏一(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月3日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、全教科、高校全教科	20人	20人
148	平31-10012-504373号	【選択】魏晉南北朝隋唐史研究における近年の動向と成果	中国の魏晉南北朝隋唐時代の研究における近年の動向と成果について解説する。また重要な成果については関係論文を講読し、先行研究との相違や根拠となる史料の解釈等について解説する。その上で論文過程や結論の妥当性について受講者全員で検討、講読し、理解を深める。取り上げる事項は、高等学校の世界史教科書の内容から重要度の高いものを選ぶ。	内田 昌功(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月3日	秋田大学	教諭	中学校(社会)、高校(地歴)	15人	廃止
149	平31-10012-504427号	【選択】説明文の教材研究	主に小学校の説明文教材を対象として、話題・題材、文種、意味構造などを分析し、指導計画の立案に生かせる教材研究の方法の習得を目指します。意味構造については、文法論的文章論を参考に、進捗・運筆・読者の面から文や段落の意味の重層性、展開の構図を分析し、その結果を図式化する活動を行います。担当講師が用意する小学校教材3つ程度、中学校教材1つ程度について、グループや全体で受講者どうしが協議しながら取り組むことを予定しています。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県 横手市	6時間	令和1年8月3日	サンサン 横手	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(国語)	20人	9人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
150	平31-10012-504458号	【選択】美術教育の彫刻(塑造)について題材・素材体験	美術教育における彫刻表現(塑造表現)の題材となるテーマの発想と、実際に彫刻作品を制作する素材を研究する。芯材を用い、自然硬化する粘土で人体表現や動物、植物など、授業に活用しやすい素材を学ぶ。立体表現に不可欠な空間把握能力や触覚による量を把握する能力を向上させる効果を考察する。何よりも「制作する喜び・楽しさ」を生徒に伝えるすべを学ぶ。	皆川 嘉博(秋田公立美術大学美術学 科准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月3日	秋田公立 美術大学	教諭 養護教諭	幼稚園、小学 校、特別支援 学校、養護教 諭	10人	10人
151	平31-10012-504387号	【選択】ICTを活用した理科授業の構想	教科の学習目標を達成するために教師や児童生徒がICTを活用することを求められている。ここでは、理科の学習において、教師が授業の中で効果的に活用する方法や、児童生徒が授業やその前後で活用する方法を学ぶ。次に、ICTの活用場面を選定した教材や指導案を作成する。それらを受講者同士で互いに評価し合うことにより、実際の授業で生かせるものに仕上げる。	田口 瑞穂(教育文化学部講師)	秋田県 秋田市	12時間	令和1年8月3日・ 令和1年8月4日	秋田大学	教諭	小学校、中学 校(理科)	16人	廃止
152	平31-10012-504375号	【選択】Activate Your English!	学習意欲が低い生徒集団を指導することも視野に入れ、生徒の意欲、関心を高めるための授業作り、補助教材(ハンドアウト)作成、考査及び小テストの作成と評価の方法について実践的な立場から幅広く論じる。中学校、高等学校のいろいろな方法に議論が纏まるのを避けるため、担当者は、中学校教諭経験を持つ者、高校教諭経験を持つ者の2名が担当する。トピックによって、担当者は日本語と英語を使い分けて講義を進める。	内田 浩樹(国際教養大学大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科教授) 町田 智久(国際教養大学大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月4日	国際教養 大学	教諭	中学校(英 語)、高校(英 語)	20人	11人
153	平31-10012-504376号	【選択】発音・シャドーイング・リスニング指導理論と実践	まず、リスニング指導に必要な発音指導について、その方針や基礎を確認する。そして、生徒のリスニング力を伸ばすために、「どんな目的でどんな音読活動を行い取り入れるべきか?」をテーマとして、シャドーイング・音読の様々な方法について基礎的な理論をもとに、再検討する。最後に実際の指導場面を想定し、プランニングを行い、短い発表を行う。	濱田 陽(教育推進総合センター准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月6日	秋田大学	教諭	中学校(英 語)、高校(英 語)	20人	11人
154	平31-10012-504377号	【選択】ゾウリムシ、プラナリア等の観察から動物の体のつくりを考える	動物の体のつくりの全体像を把握することを目的とする。ゾウリムシやプラナリアはヒトとは大きく異なる生物のように見えるが、基本的には同じメカニズムで生きている。ゾウリムシには1つの細胞しかなく、多細胞であるプラナリアでも心臓がない。なぜ「1つの細胞で」「心臓がなくても」生きていけるのかを考えることにより、ヒトの中で働く複雑な臓器本来の姿が見えてくる。	河又 邦彦(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	12時間	令和1年8月6日・ 令和1年8月7日	秋田大学	教諭	小学校、中学 校(理科)、高校 (理科)	16人	廃止
155	平31-10012-504378号	【選択】養護教諭に求められる今日的課題への対応	養護教諭が今日直面している課題の中から「学校カウンセリング」「発達障害児への対応」「生活習慣病対策」「学校における緊急対応」「健康相談活動について」をとりあげ、講義とワークショップによる修得を目指す。	高田 由美(日本赤十字秋田看護大学教授) 齋藤 和樹(日本赤十字秋田看護大学准教授) 南部 泰士(日本赤十字秋田看護大学准教授) 麻紀(日本赤十字秋田看護大学講師) 荻原 美里(日本赤十字秋田看護大学助教) 鈴木 渡部 泰弘(秋田県立医療療育センター科長)	秋田県 秋田市	12時間	令和1年8月6日・ 令和1年8月7日	日本赤十 字秋田看 護大学	養護教諭	養護教諭	30人	10人
156	平31-10012-504384号	【選択】幼児と環境・表現(幼児と自然・幼児と造形)	・身近な自然や事物と触れ合う活動の意義について理解を深めるとともに、喜花や木の実、生活日用品を使った遊びや制作等の実技体験をする。(幼児と自然) ・幼児期における造形表現について理解を深め、子どもと一緒に楽しめる実技体験を通して活用の仕方考える。(幼児と造形)	永井 博毅(聖園学園短期大学学生部長・教授) 小笠原 京子(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月7日	聖園学園 短期大学	教諭	幼稚園	40人	39人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
157	平31-10012-504383号	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児理解)	「幼稚園教育要領」の趣旨を踏まえ、幼児の生活や遊びを言葉の発達や人間関係の視点から捉え直す。また、映像資料やグループディスカッションを通して幼児理解を深め、援助や環境の在り方を考察し日常の実践力につなげる。	蛭田 一美(聖園学園短期大学准教授) 猿田 興子(聖園学園短期大学准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月7日	聖園学園 短期大学	教諭	幼稚園	40人	38人
158	平31-10012-504385号	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立つ内容とした。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。現代の社会における様々な病理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原 法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木 久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月7日	聖園学園 短期大学	教諭	幼稚園	40人	38人
159	平31-10012-504380号	【選択】成長を引き出す教育相談～解決志向・予防・開発のカウンセリング技法	過去、現在に留まる原因追及型ではなく、教育相談に使える未来志向・解決志向の問題解決の技法について学ぶ。また問題解決だけでなく、予防・開発教育につながるカウンセリング技法について、グループワーク・ロールプレイング等を通して体験的に学ぶ。	渡部 昌平(秋田県立大学総合科学教育研究センター准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月7日	秋田県立 大学	教諭	小学校、中学校 校全教科、高 校全教科	40人	39人
160	平31-10012-504367号	【選択】地域素材教材開発・発演	狭義の地域学習(小学校における3・4年(社会科)のみならず、中学校、高等学校においても生徒たちの学習圏や生活圏に存在する身近な地域素材は、社会科(地理歴史科、公民科)、教育実習を豊かにするものである。本講習では、そうした地域素材を用いた実際の教材開発を試みたい。	外池 智(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	12時間	令和1年8月7日、 令和1年8月8日	秋田大学	教諭	小学校、中学 校(社会)、高 校(地歴・公 民)	20人	6人
161	平31-10012-504382号	【選択】小学校英語教育	小学校英語活動の目的を理解し、中学校・高等学校との違いを認識しながら、一貫性を知る。その内容と方法、指導技術、評価などについて学ぶ。英語が得意ではない先生が英語を教えることに対する不安・心配を話し合い、それをなくす方法を探る。	John Thurlow(聖霊女子短期大学生生活文化科専任講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月7日～ 令和1年8月9日	秋田大学	教諭	小学校、中学 校(英語)、高 校(英語)	30人	8人
162	平31-10012-504441号	【選択】幼児と環境・表現(幼児と自然・幼児と造形)	身近な自然や事物と触れ合う活動の意義について理解を深めるとともに、草花や木の実、生活日用品を使った遊びや制作等の実技体験をする。(幼児と自然) ・幼児期における造形表現について理解を深め、子どもと一緒に楽しめる実技体験を通して活用の仕方を考える。(幼児と造形)	永井 博敏(聖園学園短期大学学生部長・教授) 小笠原 京子(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月8日	聖園学園 短期大学	教諭	幼稚園	40人	40人
163	平31-10012-504449号	【選択】算数・数学を楽しく量概念の形成(イメージする力を付けましょう)	スマホやパソコンが必需品となり、世の中はまさにデジタル全盛期です。その一方で子供たちの量感算(アナログ)はどうかといえれば極めて「貧弱」と言わざるを得ません。量による量付けのない数値は子供にとって単なる記号と認識されがちであり、いきおい徹底的な知的好奇心・学習意欲の向上に支障が出ます。子供たちの心算を踏まえ、量概念の形成について小中高を貫く指導方法を深めます。	根岸 均(秋田大学非常勤講師・客員教授)	秋田県 横手市	6時間	令和1年8月8日	サンサン 横手	教諭	小学校、特別 支援学校、中 学校(数学)、 高校(数学)	10人	8人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
164	平31-10012-504450号	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児理解)	「幼稚園教育要領」の趣旨を踏まえ、幼児の生活や遊びを言葉の発達や人間関係の視点から捉え直す。また、映像資料やグループディスカッションを通して幼児理解を深め、援助や環境の在り方を考察し日常の実践力につなげる。	蛭田 一美(聖園学園短期大学准教授) 猿田 興子(聖園学園短期大学准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月8日	聖園学園 短期大学	教諭	幼稚園	40人	39人
165	平31-10012-504454号	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立てる内容とした。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。現代の社会における様々な病理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原 法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木 久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月8日	聖園学園 短期大学	教諭	幼稚園	40人	39人
166	平31-10012-504395号	【選択】近世日本海海運の展開と秋田	近世、江戸時代は米経済の時代であり、年貢米を中央市場に出荷する必要性から河川水運と海運を連結した水運機構が全国規模で整備された。それは、幕府諸藩が運賃契約で廻船を雇用する方式だったが、日本海沿岸にはそれとは違い、自己資本で積荷を買い込んで他の藩に廻船して販売を繰り返すという特徴的な海運が展開した。こうした日本海海運の具体像を検討することにより秋田から全国を見通す視点について考察したい。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月8日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学 校、特別支援 学校、中学校 (社会)、高校 (地産)	10人	6人
167	平31-10012-504391号	【選択】リスクで考える環境問題	化学物質汚染や自然災害など様々な環境問題に対する不適切な判断(無関心、過剰な怖れや期待など)が、個人や社会に影響を与えていることがある。講習では確率の概念である「リスク」をもとにして、科学的な判断をするための方法を学びます。総合学習や日常の生活指導などにおいて、自覚した冷静な判断を促すほか、科学への関心を高めるためにも役立ちます。本講習は参加型の講義形式(アクティブラーニング)で行います。	金澤 伸浩(秋田県立大学システム科学技術学部システム工学科准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月9日	秋田大学	教諭 養護教諭	幼稚園、小学 校、特別支援 学校、養護教 諭、中学校全 校、中学校全 教科、高校全 教科	24人	12人
168	平31-10012-504442号	【選択】幼児と環境・表現(幼児と自然・幼児と造形)	・身近な自然や事物と触れ合う活動の意義について理解を深めるとともに、草花や木の美、生活日用品を使った遊びや制作等の実技体験をする。(幼児と自然) ・幼児期における造形表現について理解を深め、子どもと一緒に楽しめる実技体験を通して活用の仕方を考える。(幼児と造形)	永井 博敏(聖園学園短期大学学生部長・教授) 小笠原 京子(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月9日	聖園学園 短期大学	教諭	幼稚園	40人	39人
169	平31-10012-504389号	【選択】演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力の向上	・世界はグローバル化とその逆の流れが平行して進み、正解のない課題、経験したことがない課題と直面する時代。このような「多文化共生」時代を生きて子どもたちには、コミュニケーション能力の育成が極めて重要である。 ・演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力向上を旨とし、教師自身が身体性や身体感覚を豊かにすることで、他者との関係づくりが進むことを体感する。そして、児童生徒のコミュニケーション能力を高める実践的な指導力を身に付ける。	根岸 均(秋田大学非常勤講師・客員教授) 栗城 宏(秋田大学非常勤講師)	秋田県 仙北市	6時間	令和1年8月9日	あきた芸 術村	教諭	幼稚園	10人	10人
170	平31-10012-504389号	【選択】演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力の向上	・世界はグローバル化とその逆の流れが平行して進み、正解のない課題、経験したことがない課題と直面する時代。このような「多文化共生」時代を生きて子どもたちには、コミュニケーション能力の育成が極めて重要である。 ・演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力向上を旨とし、教師自身が身体性や身体感覚を豊かにすることで、他者との関係づくりが進むことを体感する。そして、児童生徒のコミュニケーション能力を高める実践的な指導力を身に付ける。	根岸 均(秋田大学非常勤講師・客員教授) 栗城 宏(秋田大学非常勤講師)	秋田県 仙北市	6時間	令和1年8月9日	あきた芸 術村	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校、特別 支援学校、中 学校全教科、 養護教諭、栄 養教諭	15人	15人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
171	平31-10012-504389号	【選択】演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力の向上	・世界はグローバル化とその逆の流れが平行して進み、正統のない課題、経験したことのない課題と直面する時代、このような「多文化共生」時代を生きていく子どもたちには、コミュニケーション能力の育成が極めて重要である。 ・演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力向上を目指し、教師自身が身体性や身体感覚を豊かにすることで、他者との関係づくりが進むことを体験する。そして、児童生徒のコミュニケーション能力を高める実践的な指導力を身に付ける。	根岸 均(秋田大学非常勤講師・客員教授) 栗城 宏(秋田大学非常勤講師)	秋田県 仙北市	6時間	令和1年8月9日	あきた芸術村	教諭	高校全教科	5人	4人
172	平31-10012-504451号	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児理解)	「幼稚園教育要領」の趣旨を踏まえ、幼児の生活や遊びや言葉の発達や人間関係の視点から捉え直す。また、映像資料やグループディスカッションを通して幼児理解を深め、援助や環境の在り方を考察し日常の実践力につなげる。	梶田 一美(聖園学園短期大学准教授) 猿田 興子(聖園学園短期大学准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月9日	聖園学園短期大学	教諭	幼稚園	40人	38人
173	平31-10012-504455号	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立てる内容としたい。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。現代の社会における様々な構理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原 法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木 久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月9日	聖園学園短期大学	教諭	幼稚園	40人	24人
174	平31-10012-504463号	【選択】佐竹氏と東國の大名たち-近世大名の成立過程	佐竹氏は21世義宣の時代に常陸より出羽国秋田に移封し、義宣が初代藩主となって秋田藩を形成する。天正18年(1590)、小田原の北条氏が豊臣秀吉に屈服すると、義宣は北条氏の旧領に移された徳川家康と対峙したが、それまでは南の北条氏と北の伊達氏に挟まれ、厳しい軍事的情勢下に置かれていた。講習では、佐竹氏が上杉氏や武田氏、蘆名氏や岩城氏等と合従連衡を繰り返しながら近世大名へと転換した歴史過程について考察する。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月9日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	5人
175	平31-10012-504398号	【選択】環境問題のとりえ方	この講習では、環境問題について「環境と社会との関係」から考えていく環境社会学の考え方を説明し、どのように「グリーン・リズム」などについてとらえることができるのかを考えていきます。また、環境問題についての考え方は他の社会問題についても応用できるため、この講習をおして、社会問題についての社会的な考え方も身につけてもらうことを目標とします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月10日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、全教科、高校全教科	20人	20人
176	平31-10012-504446号	【選択】説明的文章の研究	主に小学校の説明的文章教材を対象として、話題・題材、文種、意味構造などを分析し、指導計画の立案に生かせる教材研究の方法の習得を目指します。意味構造については、文法論的文章論を参考に、連珠・連鎖・転接の面から文や段落の意味の重層性、展開の相関を分析し、その結果を図式化する活動を行います。担当講師が用意する小学校教材の程度、中学校教材1つ程度について、グループや全体で受講者どうしが協議しながら取り組むことを予定しています。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県 北秋田市	6時間	令和1年8月10日	北秋田市交流センター	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(国語)	20人	4人
177	平31-10012-504368号	【選択】実験で学ぶ生物の遺伝子DNA-自らDNAを抽出する-	遺伝子DNAは、医療現場・個人の遺伝情報管理・食品の産地や遺伝子組換え食品・犯罪捜査と親子鑑定・考古学等への利用、など日常生活・食生活および食育で非常に身近な存在となっていて、その理解を深めることは全教科、全教科で必要かつ重要である。また、簡易DNA抽出法を伝授することで教育現場での実践が可能となる。(主な内容:簡易DNA抽出法の体得、精密な抽出と解析技術の体験、日常生活での利用法の理解)	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	18時間	令和1年8月10日～ 令和1年8月12日	秋田大学	教諭 栄養教諭	小学校、中学校(理科・技術・家庭)、高校(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)、栄養教諭	16人	9人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
178	平31-10012-504393号	【選択】指揮法の応用と課題解決	指揮法の基本的な型を確認・練習したのち、ベートーヴェン作曲「コリオリ」序曲をメインの教材として指揮要法の訓練を行います。この過程で各自の課題の改善を図ります。受講者は4名のピアノに分かれて片手でのピアノ用の編曲された同曲の演奏に参加して頂きます。ピアノはみんなで弾くので上手でなくても大丈夫です。指揮棒は各自持参可。安価なタイプの指揮棒は当日用意しておきます。試験は『コリオリ』の指揮です。※ピアノの代わりに、管弦楽器を持参して演奏に変わっても構いません。パート譜は用意します。	石原 慎司(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月11日	秋田大学	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(音楽)、高校(音楽)	16人	廃止
179	平31-10012-504392号	【選択】家庭科における授業づくり	家庭科をめぐる今日的な課題を確認したうえで、小・中・高等学校の学習内容の関連性を意識しながら、児童・生徒が生涯にわたって自立した生活を送る主体となるための基礎的な能力の獲得を目指す指導の在り方を検討していく。	堀江 さおり(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月14日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(家庭)、高校(家庭)	15人	14人
180	平31-10012-504370号	【選択】図形の合同と1次変換	平面上の図形の形を変えない移動は、平行移動・回転移動・線対称移動の組み合わせであることが定理として確立している。平面上の図形の移動を学ぶ方法に座標の1次変換とよばれる方法がある。講義では、座標の1次変換の理論を通じて平面上の図形の平行移動・回転移動・線対称移動の関係を学ぶ。	山口 祥司(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月14日	秋田大学	教諭	中学校(数学)、高校(数学)	20人	6人
181	平31-10012-504396号	【選択】地理学的な調べ方・考え方・まとめ方を学ぶⅡ	地理学的な調べ方・考え方・まとめ方について、生活文化の地理学、地域振興の地理学、地理情報システム等の基礎、地形図を見ながら「まち・むら」を歩いて地理学を学ぶ、地理情報システム等を通じて学び、また、「地理学・授業上の工夫・問題点を受講者間で討論・意見交換する。小中高校の授業内容の差を「世界」を広くとらえて視野の狭さを痛感する。地理学の見方」等を紹介解説し、参加者全員でその改善を討議する。	篠原 秀一(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和1年8月14日～令和1年8月16日	秋田大学	教諭	小学校(社会)、中学校(社会)、高校(地理・公民)	12人	4人
182	平31-10012-504397号	【選択】学童期の栄養	学童期の栄養障害には、肥満と栄養不良、瘦せが挙げられる。肥満は、劣等感、引込み思案、運動能力の低下などの原因となり、心理的にも日常生活でも好ましくない。過度の肥満は児童のメタボリックシンドロームを引き起こし、将来、生活習慣病になるリスクを高める。講習では学童期の肥満の現状、原因、リスク、栄養アセスメント等について学習する。	進藤 祥子(聖霊女子短期大学生活文化科准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月16日	秋田大学	栄養教諭	栄養教諭	10人	3人
183	平31-10012-504360号	【選択】特別支援教育－発達障害児の理解と支援－	障害児の教育は「特別支援教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の専門性及び専門性が求められている。その一助となることを目指し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方策について学ぶ。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月17日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(全教科)、高校(全教科)、養護教諭、栄養教諭	50人	49人
184	平31-10012-504415号	【選択】遺伝子から学ぶ最先端生物学	生物学は、遺伝子の本体であるDNAの理解によって様変わりしました。遺伝子のレベルで生物学の説明をすることが可能になりました。今回、遺伝子のレベルで説明する生物学の講義をまとめてみてみたいと思います。遺伝子からDNA組織、技術細胞や個体発生への理解などの課題を遺伝子を中心に講義をします。当日、テキストを配布する予定です。	村口 元(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科准教授) 村田 純(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月17日	秋田県立大学	教諭	中学校(理科)、高校(理科)	30人	2人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
185	平31-10012-504402号	【選択】幼児期の発達と教育の独自性	幼児期の発達の特徴を「遊び」と「学び」をキーワードとして考える。そこから、幼児期の教育・保育の独自性とは何かという課題を、主に幼児の主体的活動と保育の意図という側面から、今日的課題を踏まえて考察する。	山名 裕子(教育文化学部教授) 奥山 順子(教育文化学部教授) 瀬尾 知子(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	18時間	令和1年8月17日～ 令和1年8月19日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校	60人	59人
186	平31-10012-504402号	【選択】幼児期の発達と教育の独自性	幼児期の発達の特徴を「遊び」と「学び」をキーワードとして考える。そこから、幼児期の教育・保育の独自性とは何かという課題を、主に幼児の主体的活動と保育の意図という側面から、今日的課題を踏まえて考察する。	山名 裕子(教育文化学部教授) 奥山 順子(教育文化学部教授) 瀬尾 知子(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	18時間	令和1年8月17日～ 令和1年8月19日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校	60人	46人
187	平31-10012-504403号	【選択】大人が支えるインターネットネットワークを考える	PCのみならず、スマートフォン、ゲーム機等、携帯型ネットワーク機器の普及により、子どもたちのインターネット利用はより身近になる一方、「ネットいじめ」や犯罪等のトラブルに巻き込まれる危険性が問題となっております。そこで、養護教諭や栄養教諭を含む学校関係者が、子どもたちのインターネット利用の問題を理解し、保護者や地域住民による子どもたちの健全なインターネット利用環境づくりのあり方について考えます。	鈴木 翔(大学院理工学研究科講師) 梶庭 直(秋田県教育庁生涯学習課社会教育主事)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年9月1日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	15人	15人
188	平31-10012-504447号	【選択】説明的文章の教材研究	主に小学校の説明的文章教材を対象として、話題・題材、文種、意味構造などを分析し、指導計画の立案に生かせる教材研究の方法の習得を目的とします。意味構造については、文法論的文章論を参考に、連接・連鎖・転接の面から文や段落の意味の重層性、展開の構相を分析し、その結果を図式化する活動を行います。担当講師が用意する小学校教材1つ程度、中学校教材1つ程度について、グループや全体で受講者どうしが協議しながら取り組むことを予定しています。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月18日	秋田大学	教諭	小学校、特別支援学校、中学校、学校(国語)	20人	8人
189	平31-10012-504399号	【選択】食・食育を生物学から考えるー自ら食材を解剖・観察するー	食とは生き物をありがたうにいただくことである。食材を扱う「食育」を実践できるような食料の資源向上を目指し「食」を生物学の視点から解説する。なぜ食う食われるが成立するのか、消化や生きるとはどのようなことなのかを、生き物の起源、細胞の組成、栄養素および遺伝現象について学ぶとともに、実際に受講者自身で生き物の解剖と観察を行うことにより理解する。食物アレルギー問題、遺伝子組換え作物の安全性、地産地消等も扱う。	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	18時間	令和1年8月18日～ 令和1年8月20日	秋田大学	教諭 栄養教諭	小学校、中学校(理科・技術・家庭・家庭・情報・農業・工業・水産)、栄養教諭	16人	5人
190	平31-10012-504452号	【選択】特別支援教育ー障害児の教育Ⅱー	我が国は、国連の「障害者の権利に関する条約」に批准し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築をめざしています。講習では、インクルーシブ教育の理念、求められる合理的配慮と基礎的環境整備、今後学校教育に求められる取組について、演習を交えながら考えていきます。	藤井 鷹博(大学院教育学研究科教授)	秋田県 北秋田市	6時間	令和1年8月19日	北秋田市 民ふれあいプラザ	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、全教科、養護教諭、栄養教諭	40人	21人
191	平31-10012-504465号	【選択】作物の病害診断Ⅰ(顕微鏡の利用を中心とした糸状菌病の診断法)	作物の生産を阻害する病害虫を予防するためには、的確な診断技術と発生生態に関する知識が必要である。本講習では、秋田県内で発生する主要病害について、診断技術と発生生態に関する基礎的知識を実習形式で学ぶ。	古屋 戸田 武(秋田県立大学生物資源科学部助教)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年8月19日	秋田県立 大学	教諭	中学校(理科)、高校(理科・農業)	10人	3人





講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
199	平31-10012-504405号	【選択】力学における保存則と対称性	物体の運動についての有名法則の一つとして運動量保存則がある。他にもエネルギー保存則や角運動量保存則などが知られている。この講習ではこれらの保存則がどのような時に成り立つのかについて、物理的な対象が持つ対称性の観点から考察し理解を深める。	小野田 勝(大学院理工学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月25日	秋田大学	教諭	高校(理科)	20人	廃止
200	平31-10012-504408号	【選択】小・中学校の作文評価法研修	全米学力調査NAEPの文章類別「P:説得」について、児童・生徒が書いた作文の分析を通して、多観点3段階の「評価基準」の設定と、該当例文の選定を行い、妥当性・信頼性の高い作文評価能力の習得を目指します。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月25日	秋田大学	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(国語)	20人	4人
201	平31-10012-504459号	【選択】部屋割り論法と存在性証明	部屋割り論法(鳩の巣原理)は高等学校学習指導要領(数学編)において、整数の性質に関連して扱われている。高等数学における存在性証明における有効な手段であるが、学習指導要領の他の論法(帰納法)の性質への応用以外に高校生が興味を引くであろう組合せの問題を取り上げその有用性を示し、存在性証明の意義について考察する。	山村 明弘(大学院理工学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月25日	秋田大学	教諭	高校(数学・情報)	10人	廃止
202	平31-10012-504436号	【選択】特別支援教育－発達障害児の理解と支援	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められる。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月31日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭	50人	49人
203	平31-10012-504350号	【選択】世界を変えた化学の発見	身の回りの物質を通して化学と人間生活とのかわりについて理解を深めることが、中高理科における学習目標の一つとなっている。本講習では、現在の我々の生活を支えている化学物質を取り上げ、その発明の経緯と人間生活に与えた影響について学ぶことを目標とする。合成染料、窒素肥料、ガソリン、プラスチックなど、人間の生活様式を大きく変えるに至った物質について議論する。	清野 秀岳(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月31日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(理科)、高校(理科・工業)	30人	6人
204	平31-10012-504409号	【選択】英語教材研究の視点	本講座では、英語授業の準備を行う際の教材研究の視点について考察する。特に、次期学習指導要領で求められている思考・判断・表現の力を身につけさせるために、何が求められているのかについて、実際に読解のタスクを体験しながら考えていく予定である。	若野 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年8月31日	秋田大学	教諭	中学校(英語)、高校(英語)	20人	6人
205	平31-10012-504407号	【選択】地域づくりワークショップ	地域づくりに関する講義とワークショップをおこなう。第1日目は、講義を中心に進め、地域づくり活動事例や住民アンケートの解説をする。第2日目は、ワークショップの準備を目的とする。第2日目は、農村現場に出かけ、現地見学や住民との協議、ワークショップ作品づくりなどの研修をおこなう。なお、本講習は、県内2箇所(秋田市:8月31日～9月1日)と横手市:9月7日～8日)において、各1回開催する。	荒樋 豊(秋田県立大学生物資源科学部 教授)	秋田県秋田市	12時間	令和1年8月31日、 令和1年9月1日	秋田県立大学秋田キャンパス、秋田市四ツ小戸地区	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校、全教科、全教科	20人	廃止

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
206	平31-10012-504411号	【選択】初等算数論とその応用	整数全体{…-2,-1,0,1,2,…}に関する基本原理解から出発し、既知な事柄(素因数分解とその一意性、ピタゴラスの定理の自然数解全体)や発展的課題(合同式を用いたRSA暗号等)について考察し理解を深める。また、整数全体が環という数学的対象の一つの例であることを紹介し、慣れ親しんだ計算方法について環の定義・性質から考察する。	大内 将也(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年9月1日	秋田大学	教諭	小学校、中学校(数学)、高校(数学)	10人	4人
207	平31-10012-504410号	【選択】小学校英語指導の基礎知識	本講習では、小学校教員が英語または外国語活動を担当する上で重要と思われる知識について学んでいきます。具体的には、文字指導、読み聞かせ指導、また第二言語習得の理論の基礎的な内容や外国語担当教員に求められる資質等について扱う予定です。	若手 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和1年9月1日	秋田大学	教諭	小学校で英語または外国語活動を担当される教諭	20人	廃止
208	平31-10012-504438号	【選択】流体とエネルギー～風力、水力発電の原理	再生可能エネルギーの中で風力発電や水力発電は、空気や水といった流体が持つエネルギーを電気エネルギーに変換している。ここでは、風力発電では風車、水力発電では水車と呼ばれる流体のエネルギーを機械的な回転エネルギーに変換する装置が用いられている。本講では流体力学の基礎的な知識から風車、水車の原理までを概説する。	須知 成光(秋田県立大学システム科学技術学部准教授)	秋田県由利本荘市	6時間	令和1年9月7日	秋田県立大学	教諭	小学校、中学校(理科)、高校(理科)	15人	廃止
209	平31-10012-504453号	【選択】特別支援教育一障害児の教育Ⅱ	我が国は、国連の「障害者の権利に関する条約」に批准し、共生社会の形成に向けたインクルージョン教育システムの構築をめざしています。講習では、インクルージョン教育の理念、求められる合理的配慮と基礎的理論整備、今後学校教育に求められる取組について、演習を交えながら考えていきます。	藤井 慶博(大学院教育学研究科教授)	秋田県横手市	6時間	令和1年9月7日	ウエルネス横手路	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭	50人	27人
210	平31-10012-504460号	【選択】英語教材研究の視点	本講座では、英語授業の準備を行う際の教材研究の視点について考察する。特に、次期学習指導要領で求められている思考・判断・表現の力を身につけさせるために、何が求められているのかについて、実際に読解のタスクを体験しながら考えていく予定である。	若手 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県横手市	6時間	令和1年9月7日	旭公民館	教諭	中学校(英語)、高校(英語)	20人	5人
211	平31-10012-504431号	【選択】地域づくりワークショップ	地域づくりに関する講義とワークショップをおこなう。第1日目は、講義を中心に進め、地域づくり活動事例や住民間与のあり方の解説をする。第2日目は、ワークショップの習得を目指す。第3日目は、農村現場に出かけ、現地実学や住民との協働ワークショップ作品づくりなどの研修をおこなう。なお、本講習は、県内2箇所(秋田市:8月31日～9月1日)と横手市:9月7日～8日)において、各1回開催する。	荒越 豊(秋田県立大学生物資源科学部 教授)	秋田県横手市	12時間	令和1年9月7日、 令和1年9月8日	三又コミュニケーションセンター 三又地区	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校、全教科	20人	廃止
212	平31-10012-504443号	【選択】双曲幾何入門	平行線の公理を満たさない非ユークリッド幾何学である。双曲幾何について概説する。複素数を複素平面上の点と考え、複素数の計算を用いて、直線とは何か、長さとは何か、長さや角度を保つ変換は何かを定めていくことにより、平面上の新たな幾何を構成していく様子を理解する。式の計算だけではなく、それによって現れる図形の変化を、コンピュータを用いて直感的に理解していく。	中江 康晴(大学院理工学研究科講師)	秋田県秋田市	6時間	令和1年9月8日	秋田大学	教諭	中学校(数学)、高校(数学)	20人	廃止

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
213	平31-10012-504444号	【選択】美術教育における題材体験(平面)	美術教育における平面の様々な表現を体験して、児童・生徒の関心・意欲・態度を高め、表現する力を伸ばす指導力を身に付ける。併せて題材などを開発する力を身につける。	長瀬 達也(大学院教育学研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年9月8日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(美術)、高校(美術)	12人	12人
214	平31-10012-504461号	【選択】小学校英語指導の基礎知識	本講習では、小学校教員が英語または外国語活動を担当する上で重要と思われる知識について学んでいきます。具体的には、文字指導、読み聞かせ指導、また第二言語習得の理論的基礎的な内容や外国語担当教員に求められる資質等について扱う予定です。	若原 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県 横手市	6時間	令和1年9月8日	旭公民館	教諭	小学校で英語または外国語活動を担当される教員	20人	廃止
215	平31-10012-504416号	【選択】確率分布と統計的な推測	高等学校の数学Bにおける「確率分布と統計的な推測」について理解を深めることを目的とする。確率変数の期待値に関する性質、二項分布と正規分布の関係などについて触れ、統計的な推測の考えがなぜ必要なのか分けていく。課題研究を進めるうえで有用な、高校生でもできるデータ分析の方法についても取り上げる。	宇野 力(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年9月14日	秋田大学	教諭	高校(数学)	15人	3人
216	平31-10012-504418号	【選択】学校づくりと教職員の課題	主に学校経営に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的・制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について解説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年9月21日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、全教科、高校、養護教諭、栄養教諭	20人	17人
217	平31-10012-504417号	【選択】柔道の指導法	柔道の指導法について、実技実習を行なう。技能・体力・運動意欲を向上させるうえで効果的な指導法について学習する。内容は、基本動作や対人的技能についての段階的な指導法、体づくりの運動の趣旨を生かした指導法などである。また、柔道における「伝統的な行動の仕方」の指導のあり方について考察する。	三戸 範之(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年7月6日	秋田大学	教諭	中学校(保健体育)、高校(保健体育)の指導にあたる教諭	20人	3人
218	平31-10012-504412号	【選択】人工知能と呼ばれるモノ	近年、人工知能と呼ばれるモノがいろいろな分野に進出しているが、その多くの基本構造は高校から大学初年次の数学を用いて記述することが出来る。本講義ではこれを平易に解説したい。若い世代ほどその将来を人工知能と呼ばれるモノに左右される可能性が高いであろう。そのような世代が通う学校の先生方の教育指導の一助となればと考えている。	河上 肇(大学院理工学研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年9月28日	秋田大学	教諭	中学校(数学)、高校(数学・情報)	20人	6人
219	平31-10012-504440号	【選択】特別支援教育－知的障害児の理解と教育の実践－	障害児の理解に向けて、知的障害児を中心に文化史や教育史といった歴史的背景や発達のとらえ方から考えていく。また、知的障害児教育には、指導法としての領域・教科を合わせた指導と、指導内容及び指導方法に関する独自性が存在する。そこで、知的障害児の学習上の特性に応じた対応の基本を中心に、教育課程の在り方も含めて教育現場の指導実践例も紹介しながら学んでいく。	谷村 佳則(教育文化学部准教授)	秋田県 横手市	6時間	令和1年9月28日	Y2ぶらざ	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、全教科、高校、全教科、養護教諭、栄養教諭	40人	40人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
220	平31-10012-504419号	【選択】近世城下町の構造－秋田藩の城下町を事例にフィールドワーク	江戸時代は都市の時代の時代といわれる。諸藩は領国を治め、また藩経済を全国経済に結びつけるため領国の中心に城下町を建設した。それは全国共通の構造である基本設計のもとに造られた都市計画だった。本講習は、そうした近世城下町の構造を江戸時代の社会構造の観点から解説し、その上で実際に城下町を歩くフィールドワークをおこなう。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年9月29日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	10人
221	平31-10012-504413号	【選択】教育のなかの新聞とメディア・リテラシー	この講習では、学校の教育に取り入れられるようになっている「新聞」について、メディア論や社会学での研究をもとに、そのメディアとしての特性や教育で取り上げることの留意点、「メディア・リテラシー」の背景にあるメディアの考え方や受講者とともに考えていきます。このことをとおして、教育のなかでの新聞などのメディアの利用について、各受講者がみずから考えられるようになり、これを目標とします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年10月5日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、全教科、養護教諭、栄養教諭	30人	29人
222	平31-10012-504420号	【選択】危機管理と教職員の課題	学校における危機管理に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的・制度的・政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通して、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年10月5日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、全教科、養護教諭、栄養教諭	20人	15人
223	平31-10012-504457号	【選択】秋田県の地震・津波災害と防災・減災教育	2011年に発生した東日本大震災以降、地域に即した防災教育の必要性が高まっている。また、秋田県では過去に多くの地震や津波災害が発生している。本講習では、秋田県の地震、津波の発生メカニズム、特性といった基礎的なことを説明した後、これら災害の歴史と特徴について説明する。そして、防災・減災へ向けて、これらの災害への対策や課題、防災教育のあり方について説明する。	水田 敏彦(地方創生センター教授) 鎌田 孝信(地方創生センター准教授)	秋田県 大館市	6時間	令和1年10月5日	大館市北地区コミュニティセンター	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、全教科、養護教諭、栄養教諭	45人	43人
224	平31-10012-504437号	【選択】特別支援教育－発達障害児の理解と支援	障害児の教育は「特別支援教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指図の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められる。その一助となることを期待し、本講習では、学校に於ける「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら、具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県 北秋田市	6時間	令和1年10月19日	北秋田市民ふれあいプラザ	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、全教科、養護教諭、栄養教諭	40人	39人
225	平31-10012-504445号	【選択】美術教育における鑑賞学習	美術教育における鑑賞学習の指導力を身に付けるために、鑑賞学習の基礎的な知識を身に付け、さらに美術館での鑑賞を体験する。そして、鑑賞学習の授業案を作成する。特に児童・生徒の関心、意欲・態度を高めることを主眼とする。	長瀬 達也(大学院教育学研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年10月19日	カレッジプラザ	教諭	小学校、特別支援学校、中学校、高校(美術)、高校(美術)	12人	10人
226	平31-10012-504422号	【選択】特別支援教育－アセスメントに基づいた支援	「特別支援教育」の充実・発展に向けて、教員には、より一層の実践力及び専門性が求められる。その一助となることを期待し、本講習では、発達障害のある子どもに対するアセスメント方法や実際の支援方略に即して、具体的な事例を紹介しながら学ぶとともに、グループワークなどを行いアセスメントから具体的な支援へと結びつける力を養う。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年10月26日	秋田大学	教諭 養護教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、全教科、養護教諭	30人	29人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
227	平31-10012-504462号	【選択】近世城下町の構造－秋田藩の城下町を事例にフィールドワーク	江戸時代は都市の時代といわれる。諸藩は領国を治め、また藩経済を全国経済に結びつけるため領国の中心に城下町を建設した。それは全国共通のある基本設計のもとに造られた都市計画だった。本講習は、そうした近世城下町の構造を江戸時代の社会構造の観点から解説し、その上で実際に城下町を歩くフィールドワークをおこなう。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年10月26日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	8人
228	平31-10012-504464号	【選択】近世日本海海運の展開と秋田	近世、江戸時代は米経済の時代であり、年貢米を中央市場に出荷する必要性から河川水運と海運を連結した水運機構が全国規模で整備された。それは、幕府諸藩が運賃契約で廻船を雇用する方式だったが、日本海沿岸にはそれと異なる自己資本で積荷を買い込んだり、他藩の廻船に廻運して販路を繰り返すという特徴的な海運を展開した。こうした日本海海運の具体的な画像を検討することにより秋田から全国を見通す視点について考察したい。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年10月27日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	廃止
229	平31-10012-504424号	【選択】色彩デザイン・色彩構成の基礎	「色彩」は、「かたち」や「素材」と並んで、デザイン・造形表現を行う上で最も基礎的な要素として位置づけられます。したがってその運用手法の習得は、美術教育や造形表現活動に携わる上で不可欠といえます。このような観点から本講習では、デザイン・造形表現における基礎的な色彩の扱い方の習得を目的に、 (1)「色彩理論」・「色彩システム」の考え方のポイント (2)それに基づき具体的な「配色方法」の2点から、実習を交えながら扱っていきます。	石井 宏一(教育文化学部准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年11月2日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(美術)、高校(美術)	20人	19人
230	平31-10012-504433号	【選択】学校づくりと教職員の課題	主に学校教育に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的・制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について解説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学部研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学部研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年11月9日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高校、養護主教科、養護全教科、養護教諭、栄養教諭	20人	15人
231	平31-10012-504354号	【選択】素粒子物理学入門－ヒッグス粒子から重力波まで	現代科学の相対性をなす量子論と相対論。そして物質の基本単位である素粒子について一定の理解は、今や中身の理解者にとつて必須となっている。本講義の前半では、線形代数などを用いて量子力学における重ね合わせと不確定性「量子もつれ」、そして相対論における「光速不変の原理」「時間と距離の相対性」について説明を行う。後半は素粒子の分類と質量生成機構について「ヒッグス粒子」「重力波」などのトピックを織り交ぜながら説明する。	三角 樹弘(大学院理工学部研究科講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年11月9日	秋田大学	教諭	中学校(数学・理科)、高校(数学・理科)	30人	廃止
232	平31-10012-504423号	【選択】陸上競技の指導法	陸上競技の指導法について、実技実習を行う。各種の走る、跳ぶ、投げるという実践を通じて、陸上競技の運動の仕組みを理解し、技能や体力、運動意欲を向上させるうえで効果的な指導法について学習する。陸上競技のトレーニング方法、技術、さらに陸上運動の取り扱いなどについて学習を深める。	松下 翔一(教育文化学部講師)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年11月9日	秋田大学	教諭 養護教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(保健体育)、高校(保健体育)、高専(保健体育)、養護教諭、部活動で陸上競技の指導にあたる教諭	50人	16人
233	平31-10012-504372号	【選択】学校文化と教師	この講習では、現代の日本における学校と教師について、社会学、教育社会学などの議論をもとに、教員の多忙化、学校と塾との連携、専門職としての教師、教育格差などの問題を取り上げて、考えを交わります。学校と教師について「当然」と思っていることを、それらを現代社会のなかで位置づけとらえることで、批判的、自省的な視点から見つめ直すことができるようになることを目的とします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	12時間	令和1年11月9日、 令和1年11月10日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、全教科、高校、全教科、養護主教科、養護教諭	30人	24人

講習番号	認定番号	開設講習名	講習内容	担当講師	会場所在地	時間数	開設期間	会場	対象職種	主な受講対象者	受講定員	認定者数
234	平31-10012-504425号	【選択】植物バイオテクノロジーとバイオイメージング	植物バイオテクノロジーは、農業の生産性向上に欠かせない技術として、様々な分野で利用されています。本講義では、植物バイオテクノロジーの概要と作物の育種効率を飛躍的に向上させた植物バイオテクノロジーの利用について、研究事例を交えて解説します。また、電子顕微鏡やレーザー共焦点顕微鏡などの高分解能イメージング装置を用いたバイオイメージングの原理と応用例についても解説します。当日、テキストを配付する予定です。	王 敬祐(秋田県立大学生物資源科学部准教授) 尾崎 紀昭(秋田県立大学生物資源科学部准教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年11月10日	秋田県立 秋田大学	教諭	中学校(理科)、 高校(理科・農業)	10人	5人
235	平31-10012-504426号	【選択】学校、家庭、地域の連携協力の実践と分析	学校、家庭、地域の連携協力による子どもへの教育、学習支援が目指すものは何か、その具体的な取組みはどのように行われているか、その課題は何か、それぞれが配慮すべきことは何か、具体的に実践できることは何か等について事例をもとに考察する。	原 義彦(大学院教育学研究科教授) 佐々木 達也(秋田県教育庁 生涯学習課社会教育・読書推進班 社会教育主事) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年11月16日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校、教科、高専、全教科、養護教諭、栄養教諭	30人	28人
236	平31-10012-504434号	【選択】危機管理と教職員の課題	学校における危機管理に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間との関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通して、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学研究科教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年11月30日	秋田大学	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校、全教科、養護教諭、栄養教諭	20人	20人
237	平31-10012-504429号	【選択】教育のなかの新聞とメディア・リテラシー	この講習では、学校の教育に取り入れられるようになっている「新聞」について、メディア論や社会学での研究をもとに、そのメディアとしての特性や教育で取り上げることの問題点、「メディア・リテラシー」の背景にあるメディアの考え方を受講者とともに考えていきます。このことをとおして、教育のなかでの新聞などのメディアの利用について、各受講者がみずから考えられるようことを目標とします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	6時間	令和1年12月7日	秋田大学	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校、高等学校、全教科	30人	27人
238	平31-10012-504428号	【選択】実験で学ぶ生物の遺伝子DNA—自らDNAを抽出する—	遺伝子DNAは、医療現場・個人の遺伝情報管理・食品の産地や遺伝子組換え子エック・犯罪捜査と親子鑑定・考古学等への利用、など日常生活・食生活および食育で非常に身近な存在となっていて、その理解を深めることは全職種、全教科で必要かつ重要である。また簡易DNA抽出法を伝授するための教育現場での実践が可能となる。(主な内容:簡易DNA抽出法の体得、精密な抽出と解析技術の体験、日常生活での利用法の理解)	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県 秋田市	18時間	令和1年12月27日～ 令和1年12月29日	秋田大学	教諭 栄養教諭	小学校、中学校(理科・技術・家庭)、高校(理科・家庭・情報・農業・工業・栄養・水産)、栄養教諭	16人	7人

## 平成31年度 秋田大学教員免許状更新講習修了者・履修者調べ

旧免第10グループ受講見込数 1,187名 (H29.10時点)  
 旧免第1グループ受講見込数 792名 (H30.10時点)  
 新免第1グループ受講見込数 167名 (H29.10時点)  
 新免第2グループ受講見込数名 173名 (H30.10時点)

県内・ 県外 の別	修了者・ 履修者の別	職 名	グループの別					合計
			旧免許状		新免許状		その他	
			第10グループ	第1グループ	第1グループ	第2グループ		
			令和2年(2020) 3月31日が修了 確認期限の者	令和3年(2021) 3月31日が修了 確認期限の者	令和2年(2020) 3月31日が有効 期間満了の日 の者	令和3年(2021) 3月31日が有効 期間満了の日 の者	修了確認期限 超過者、延長 申請者等	
県内	修了者	教諭(小学校)	6	87	0	5	1	99
		教諭(中学校)	8	50	2	4	1	65
		教諭(高校)	15	52	2	4	2	75
		教諭(特別支援学校)	2	11	2	5	0	20
		教諭(幼稚園)	19	4	3	3	0	29
		養護教諭	4	8	1	2	0	15
		栄養教諭	0	0	1	4	0	5
		保育教諭	60	18	24	25	33	160
		保育士	82	13	21	15	57	188
		講師(講師登録者)	10	18	2	7	1	38
		教員勤務経験者	19	9	2	4	4	38
		教員採用内定者	1	0	1	0	1	3
		教育委員会職員	0	1	0	0	0	1
		寄宿舎指導員	3	1	0	0	0	4
		実習助手	1	1	0	0	0	2
		学校栄養職員	0	0	0	0	0	0
		小計	230	273	61	78	100	742
		履修者	教諭(小学校)	3	19	0	2	1
	教諭(中学校)		3	14	1	1	0	19
	教諭(高校)		2	29	0	1	0	32
	教諭(特別支援学校)		1	2	0	0	0	3
	教諭(幼稚園)		0	0	0	0	0	0
	養護教諭		1	0	0	0	1	2
	栄養教諭		0	0	0	2	0	2
	保育教諭		1	4	0	1	2	8
	保育士		4	0	0	1	4	9
	講師(講師登録者)		1	3	0	0	0	4
	教員勤務経験者		3	0	0	1	0	4
	教員採用内定者		0	0	0	0	0	0
	教育委員会職員		0	0	0	0	0	0
	寄宿舎指導員		0	0	0	0	0	0
	実習助手		0	0	0	0	0	0
	学校栄養職員		0	0	0	0	0	0
小計	19		71	1	9	8	108	
県内計 …A			249	344	62	87	108	850
県外	修了者		8	4	2	1	2	17
	履修者		37	17	10	4	4	72
	県外計 …B			45	21	12	5	6
合 計 (A+B)			294	365	74	92	114	939

教員免許状更新講習推進センター報告書 2019年度

<発行> 秋田大学総合学務課教員免許状更新講習事務室

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL : 018-889-3205 FAX : 018-889-3169

E-Mail : [menkyo@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:menkyo@jimu.akita-u.ac.jp)

<https://menkyo.jimu.akita-u.ac.jp/>